P-04D

取扱説明書　'12.3

docomo NEXT series

はじめに

「P-04D」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

本端末のご利用にあたって

- 本端末は、W-CDMA・GSM ／ GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM ／ GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。

SIMロック解除

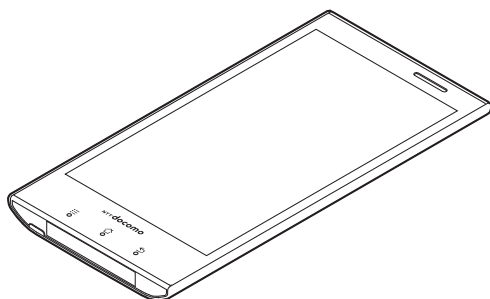
本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

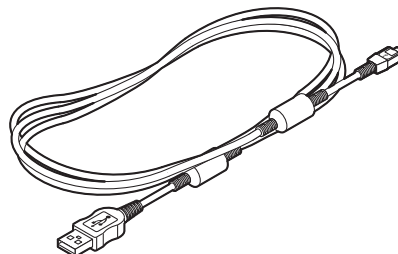
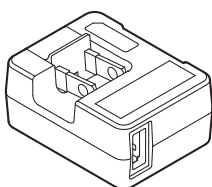
本体付属品／試供品

本体付属品

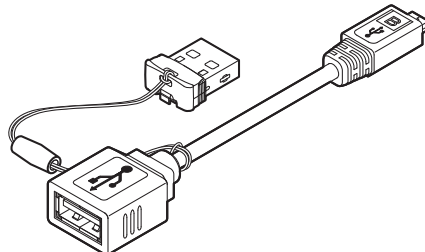
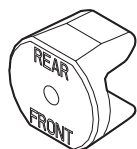
- P-04D本体（保証書付き）

- クイックスタートガイド

- ACアダプタケーブル P01（保証書付き）

＜ACアダプタ＞

＜microUSBケーブル＞

試供品

- ドコモminiUIMカード挿抜ツール（取扱説明書付き）

- microSDカードリーダライタケーブル（取扱説明書付き）

- その他オプション品については☞P.223

操作説明について

P-04Dの操作は、以下の方法で説明しています。

■「クイックスタートガイド」（本体付属品）

基本的な機能の操作について説明しています。

■[取扱説明書]（本端末のアプリケーション）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

ホーム画面▶▶[取扱説明書]

- はじめてご利用される際には、本アプリケーションをAndroidマーケットからインストールする必要があります。

■「取扱説明書」（PDFファイル）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

お知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の操作説明は、ホームアプリを[docomo Palette UI]に設定した操作で説明しています。ホームアプリを変更した場合は、操作手順などが本書の説明と異なる場合があります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、操作手順のボタンを簡略したデザインで表現しています。

本端末のご利用にあたっての注意事項

- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 本端末にはmicroSDカードを挿入して使用することができません。microSDカードリーダライタケーブル（試供品）を使ってmicroSDカードを使用することができます（☞P.40）。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の動作音声（カメラのシャッター音など）は消音されません。
- お客様の電話番号（マイプロフィール）の確認については☞P.99
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンについては☞P.142
- 本端末は、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。またその他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Androidマーケットなどのgoogleサービスやfacebook、Twitter、mixiを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットのNo以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用にはspモードのご契約が必要です。
- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能をご利用になれません。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によっては外部機器においてアプリケーション（ブラウジング・ゲームなど）が正常に動作しない場合があります。

- ご利用時の料金など詳細については、
  http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

目次

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁 止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指 示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の5項目に分けて説明しています。

本端末、アダプタ、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて <共通>

危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能については下記をご参照ください。
☞P.28「防水／防塵性能」

指示

本端末に使用するアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

外部接続端子やイヤホンマイク端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。（おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形、故障など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらアプリケーション（ゲーム）などを長時間行うと本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

本端末の取り扱いについて

■本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	内蔵電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

危険

禁止

火の中に投下しないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

警告

禁止

ドコモminiUIMカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

本端末は受話口とスピーカーが兼用になっているため、スピーカーを「ON」にして通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、大きな音が直接耳に入る恐れがあるので、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ内部やカメラのレンズの表面には耐衝撃性の樹脂を使用し、ガラスやレンズが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、内部物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
内部物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質については☞P.19「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱いについて

危険

禁止

ACアダプタには、付属のmicroUSBケーブル以外を接続しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

警告

禁 止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁 止

ACアダプタケーブルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁 止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁 止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁 止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁 止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指 示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指 示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指 示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指 示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

注意

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
イヤホンマイク端子（樹脂部分）		PA
外装ケース		PC／UV塗装
外部接続端子	樹脂部分	PA
	金属部分	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
外部接続端子カバー		エラストマ、シリコンゴム、PC／UV塗装
カメラレンズ部		PMMA／ハードコート
受話口／スピーカー		ステンレス鋼／UV塗装
ディスプレイパネル		ガラス／AFコート
ドコモminiUIMカード挿入口		ステンレス鋼
ドコモminiUIMカード挿入口カバー		エラストマ、シリコンゴム、PC／UV塗装
バーコードシール		PET
ボタン		ABS／UV塗装

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ P-04Dは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を浸入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。

アダプタ、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ 本端末などに無理な力がかからないように使用してください。

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。

傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

本端末についてのお願い

■ **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**

タッチパネルが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**

温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**

故障、破損の原因となります。

■ **外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**

故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **有機ELディスプレイに直射日光を当てたまま放置しないでください。**

故障の原因となります。

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **通常は外部接続端子カバー、ドコモminiUIMカード挿入口カバーを閉じた状態でご使用ください。**

ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■ **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**

データの消失、故障の原因となります。

■ **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**

強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ **内蔵電池は消耗品です。**

使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、「故障お問い合わせ先」（☞P.273）または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**

■ **本端末を長期間使わない状態で保管される場合には、次の点にご注意ください。**

- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管や、電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
- 適した電池残量状態（電池残量が40パーセント程度が目安）での保管をお勧めします。

■ **受話口は本体の上部右側にあります（☞P.36）。通話をする際には耳を確実に受話口にあててください。**

アダプタについてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **次のような場所では、充電しないでください。**

- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**

自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

■ **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**

故障の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

■ **ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**

■ **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**

■ **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**

■ **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

■ **お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**

■ **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**

データの消失、故障の原因となります。

■ **ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**

故障の原因となります。

■ **ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**

故障の原因となります。

■ **ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**

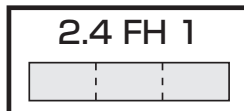
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ **本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。**

■ **Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

■ **周波数帯について**
本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4 FH 1

2.4	:	2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH	:	変調方式がFH-SS方式であることを示します。
1	:	想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
	:	2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
ご利用の国によってはBluetoothの使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ **Bluetooth機器使用上の注意事項**

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. **本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。**
2. **万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。**
3. **その他、ご不明な点につきましては、「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください（☞P.273）。**

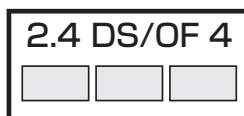
無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■ 周波数帯について
WLAN搭載機器が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4 DS/OF 4

2.4	：	2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF	：	変調方式がDS-SS方式、OFDM方式であることを示します。
4	：	想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
□□□	：	2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
ご利用の国によっては無線LANの使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ **2.4GHz機器使用上の注意事項**

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. **この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。**
2. **万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください（☞P.273）。**
3. **その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください（☞P.273）。**

FeliCa リーダー／ライターについてのお願い

■ **本端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**

■ **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

注意

■ **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、詳細は本端末の以下の手順で確認できます。
ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[端末情報]▶[認証情報]
本端末の内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ **FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**

本端末の FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

P-04Dは、外部接続端子カバーとドコモminiUIMカード挿入口カバーをしっかりと閉じた状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽にP-04Dを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

(注) 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。浸水や異物混入を防ぎ、安全にお使いいただくために、本書をよくお読みになってからご使用ください。

P-04Dが有する防水／防塵性能

■ 雨の中

- 雨の中で傘をささずに濡れた手で通話できます。（1時間の雨量が20mm未満、地面からの跳ね返りで足元が濡れる程度）

※ 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、外部接続端子カバーやドコモminiUIMカード挿入口カバーの開閉は行わないでください。

■ 洗う

- 端末が汚れた場合は、洗面器などに張った真水・常温の水道水につけて静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水に当てながら手で洗うことができます。
- 外部接続端子カバーとドコモminiUIMカード挿入口カバーを押さえたまま洗ってください。

石けん･洗剤

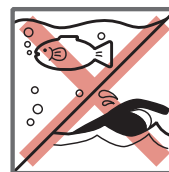
- 洗うときは、ブラシやスポンジ、石けん、洗剤などを使用しないでください。
- 洗い流したあとは表面を乾いた布でよく拭いて、水抜き（☞P.33）を行ったのち、自然乾燥させてください。

■レジャー

海水･プール

- プールの水や海水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- プールの水や海水がかかった場合は所定の方法（☞P.28）で洗ってください。

■風呂場

温泉･入浴剤

- 浴槽に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- 石けん、洗剤、入浴剤の入った水、温泉には浸けないでください。
- 規定以上の強い水流（例：蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。
- 風呂場での長時間のご使用はお避けください。
- 寒いところから暖かい風呂場などに端末を持ち込むと、急激な温度変化による結露の原因となります。端末が常温になってから持ち込んでください。

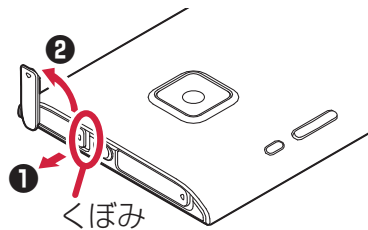
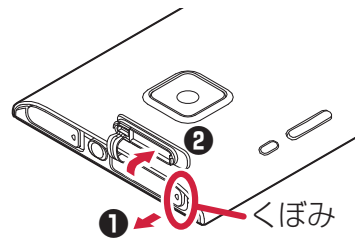
■キッチン

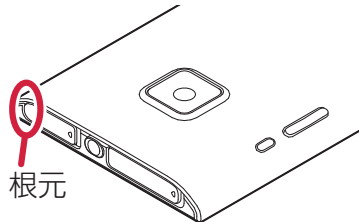
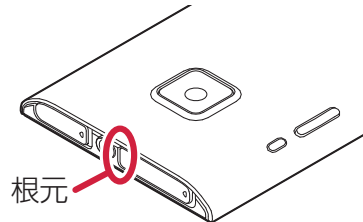
- 常温の真水や水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- お湯や冷水をかけたり、浸けたりしないでください。

ご使用にあたっての重要事項

- ご使用前に、外部接続端子カバーとドコモminiUIMカード挿入口カバーをしっかりと閉じてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。外部接続端子カバーやドコモminiUIMカード挿入口カバーを閉じるときは、カバー周辺（特にパッキン）にゴミや汚れが付着していないことを確認してください。
- 外部接続端子カバーやドコモminiUIMカード挿入口カバーが浮いていないようにしっかりと閉じていることを確認してください。確実に閉じていないと浸水の恐れがあります。
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

外部接続端子カバー／ドコモminiUIMカード挿入口カバーを開ける

1 **くぼみに指先をかけて❶の方向に引っ張り出したあと、❷の方向へ回転させる**

外部接続端子カバー／ドコモminiUIMカード挿入口カバーを閉じる

1 **端末と平行に揃えて外部接続端子カバー／ドコモminiUIMカード挿入口カバーの根元部分をしっかり押さえながら押し込む**

2 **外部接続端子カバー／ドコモminiUIMカード挿入口カバー全体に浮きがないことを確認する**

注意事項

■端末について

- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 濡れている状態で絶対に充電しないでください。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。
  - 外部接続端子やイヤホンマイク端子がショートする恐れがあります。
  - ボタンなどの隙間から水分が入り込む場合があります。また、寒冷地では、端末に水滴が付着していると、凍結し故障の原因となります。

水で濡れた場合は、外部接続端子カバーとドコモminiUIMカード挿入口カバーを閉じたまま水抜き（☞P.33）を行い、端末から出た水分を乾いたきれいな布で直ちに拭き取ってください。

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。破損により防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- お湯に浸けたり、サウナで使用したり、ドライヤーなどの温風を当てたりしないでください。
- 本端末は水に浮きません。
- 規定以上の強い水流に当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 砂浜などの上に直接置かないでください。
  - 送話口、受話口／スピーカーの穴などに水滴や砂などが入り、音が小さくなったり音が割れたりする恐れがあります。
  - ボタンなどの隙間に砂などがわずかでも挟まると、操作性を損なう恐れがあります。
  - 外部接続端子カバーやドコモminiUIMカード挿入口カバーに砂などがわずかでも挟まると浸水の原因となります。

砂などが付着した場合はボタン操作をせず、所定の方法（☞P.28）で洗ってください。

■外部接続端子カバー・ドコモminiUIMカード挿入口カバーについて

- 手袋などをしたまま開閉しないでください。パッキンの接着面に微細なゴミが付着する場合があります。
- 乾いたきれいな布で水分を拭き取る際は、パッキンに繊維が付着しないようにご注意ください。
- パッキンをはがさないでください。また、外部接続端子カバーやドコモminiUIMカード挿入口カバーの隙間に先の尖ったものを差し込まないでください。パッキンが傷つき、浸水の原因となります。
- 外部接続端子カバーやドコモminiUIMカード挿入口カバーのパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- 外部接続端子カバーやドコモminiUIMカード挿入口カバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。

■送話口、受話口／スピーカーについて

- 送話口、受話口／スピーカーの穴を尖ったものでつつかないでください。
- 水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。

■その他

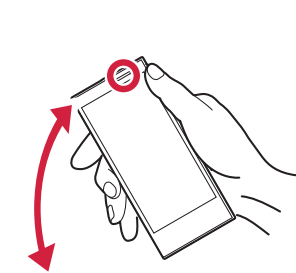
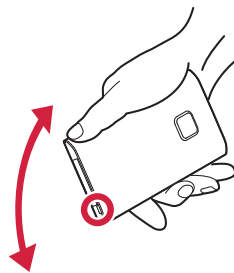
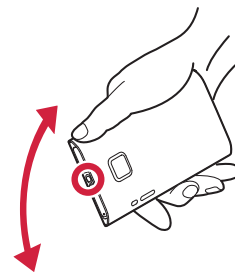
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

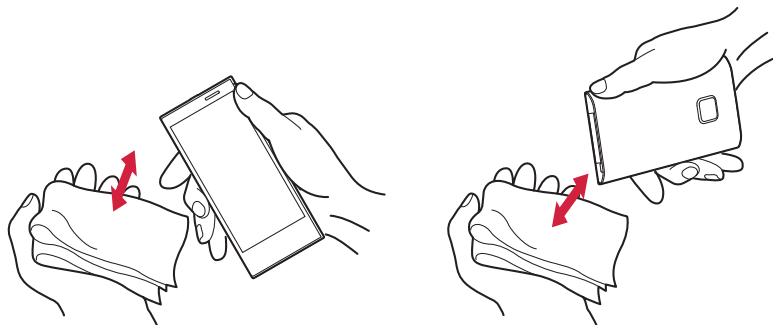
水に濡れたときの水抜きについて

- 端末に水滴が付着したままご使用になると、スピーカーなどの音量が小さくなったり、音質が変化する場合があります。
- ボタンなどの隙間から水分が入り込んでいる場合があります。

下記の手順で端末の水分を取り除いてください。

1 端末表面の水分を乾いたきれいな布でよく拭き取る

2 端末を確実に持って、各面を少なくとも20回程度、水滴が飛ばなくなるまでしっかり振る

<受話口／スピーカーの水抜き>　<送話口の水抜き>　<イヤホンマイク端子の水抜き>

3 乾いたきれいな布に端末を軽く押し当て、送話口、受話口／スピーカー、ボタン、イヤホンマイク端子などの隙間に入った水分を拭き取る

- 隙間に溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。

4 十分に水分を取り除いてからご使用ください

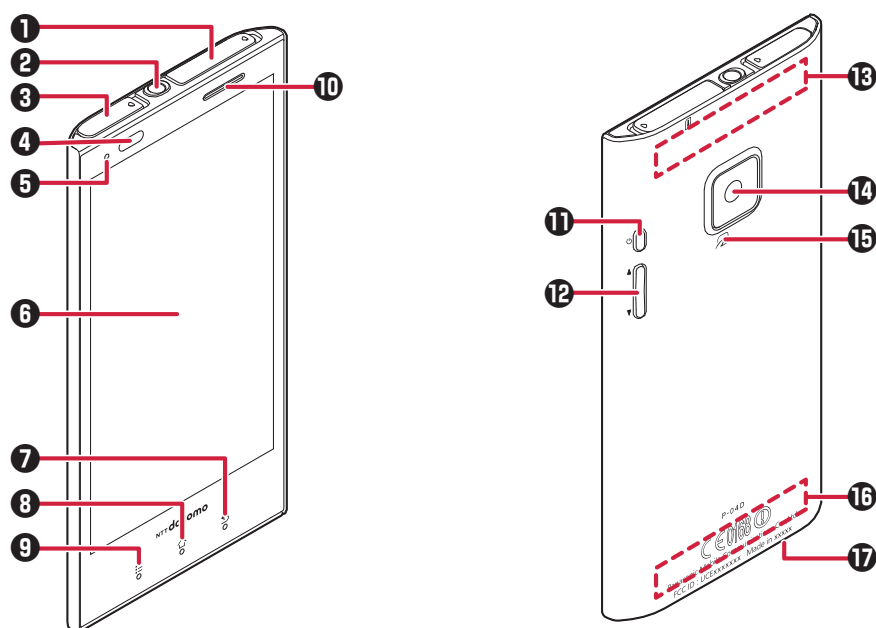
- 上記の手順を行っても、端末に水分が残っている場合がありますので、しばらく自然乾燥させてからご使用ください。また、水が染み出ることがありますので濡れては困るものをそばに置かないようにご注意ください。

充電のときには

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点を確認してください。

- 端末が濡れた状態では絶対に充電しないでください。端末が濡れたときはよく水抜きをして乾いたきれいな布で拭き取ってから充電してください。
- 充電後はしっかりと外部接続端子カバーを閉じてください。
- 濡れた手でACアダプタケーブルに触れないでください。
- ACアダプタケーブルは、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りで使用しないでください。

ご使用前の確認

各部の名称と機能

	名称	説明
❶	ドコモminiUIMカード挿入口	―
❷	イヤホンマイク端子	―
❸	外部接続端子	充電時やパソコン接続時に付属のmicroUSBケーブルを接続します。
❹	光センサー	周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動調節します。明るさを検知するために、センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。
	近接センサー	通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐためのセンサーです。近接センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けると、近接センサーが誤動作する場合があります。
❺	着信／充電ランプ	電話やspモードメールの着信時などに点滅します。 充電中に点灯します。
❻	ディスプレイ（タッチパネル）	指でなぞって画面をスクロールしたり、項目をタップして選択します（☞P.46）。
❼	[↶]バックボタン	直前の画面に戻ります。

	名称	説明
❽	ホームボタン	ホーム画面に戻ります（P.65）。 ロングタッチして最近使用したアプリケーションを表示します。
❾	メニューボタン	現在の画面で使用できるオプションメニューを表示します。
❿	受話口／スピーカー	通話時に相手の声がここから聞こえます。また、着信音や音楽の再生音なども聞こえます。
⓫	電源ボタン	2秒以上押して電源をONにします（P.45）。 電源がONのときに1秒以上押して、マナーモード、機内モードの設定／解除や、電源OFFの操作をします。 スリープモードを設定／解除します（P.45）。
⓬	／音量ボタン	相手の声やスピーカーの音量を調節します（P.93、P.120）。
⓭	Wi-Fi／Bluetooth／GPSアンテナ	アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
⓮	カメラ	静止画や動画を撮影します（P.173）。
⓯	マーク	ICカードを搭載しています。このマークを読み取り機にかざしておサイフケータイの機能を利用したり、対応するアプリケーションをダウンロードするとiC通信でデータを送受信したりできます。なお、ICカードは取り外しできません。
⓰	FOMAアンテナ	アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
⓱	送話口	自分の声をここから送ります。録音するときはマイクになります。

ドコモminiUIMカード

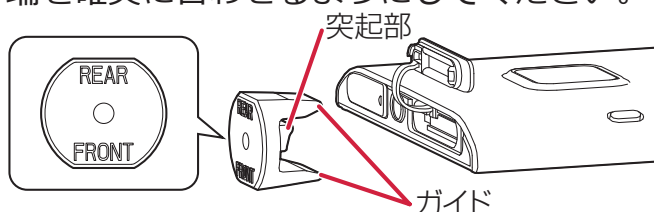
ドコモminiUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。ドコモminiUIMカードが取り付けられていないと、本端末で電話の発着信やメールの送受信、データ通信などの通信が利用できません。

- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

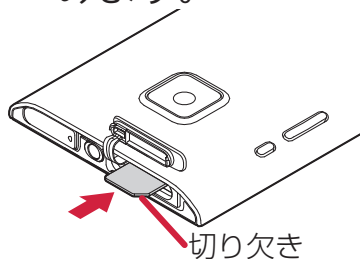
ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

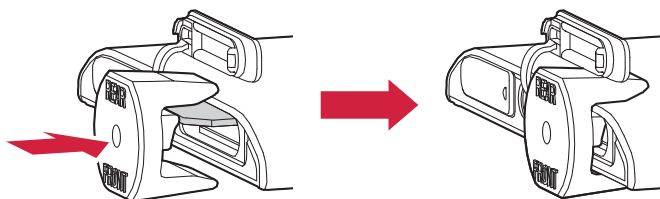
- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しは、端末の電源を切ってから行ってください。
- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、IC部分に触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモminiUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。

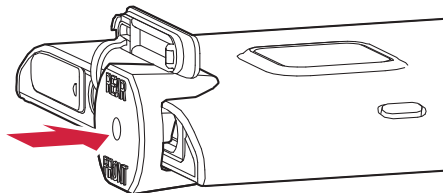
■ ドコモminiUIMカード挿抜ツール（試供品）について

ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、ドコモminiUIMカード挿抜ツールを使用します。
ドコモminiUIMカード挿抜ツールは、「FRONT」の刻印が端末のディスプレイ側、「REAR」の刻印が端末の背面側になるようにし、ガイド部分で端末を挟み込むようにして、突起部の先端とドコモminiUIMカードの端を確実に合わせるようにしてください。

ドコモminiUIMカードを取り付ける

1 金色のIC面を下にしてドコモminiUIMカードをドコモminiUIMカード挿入口に途中まで差し込む

- ドコモminiUIMカード挿入口カバーの開け方については☞P.30
- ドコモminiUIMカードをイラストの向きにして差し込みます。

2 ドコモminiUIMカード挿抜ツールの突起部を利用して、ドコモminiUIMカードをまっすぐ押し込む

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

ドコモminiUIMカードを取り外す

1 **ドコモminiUIMカード挿抜ツールの突起部でドコモminiUIMカードをいったん奥まで押し込む**

2 **ドコモminiUIMカードを取り出す**

ドコモminiUIMカードの暗証番号について

ドコモminiUIMカードには、PIN1コードとPIN2コードという2つの暗証番号を設定できます（☞P.125）。

本端末の保存領域について

本端末では、microSDカードを挿入して使用できないため、内部ストレージとUSBストレージという2つの保存領域を持っています。
内部ストレージには、Androidマーケットでインストールしたアプリケーションや連絡先、ブックマークなどが保存されます。
USBストレージは、microSDカードの代わりになる保存領域で、ウェブサイトからダウンロードしたファイル（Androidマーケット以外から入手したアプリケーション、画像、ドキュメントなど）や撮影した画像などが保存されます。
アプリケーションによっては、データやファイルをmicroSDカードに保存する旨が表示されていても、USBストレージに保存されます。

microSDカードを利用する

microSDカードリーダライタケーブル（試供品）を接続して、本端末とmicroSDカードの間でファイルをコピー／移動したり、本端末に保存されているデータやファイルをmicroSDカードにバックアップしたりできます。
本端末とmicroSDカードの間でデータやファイルのコピー／移動を行う場合は、あらかじめmicroSDカードを差し込んだmicroSDカードリーダライタケーブルを本端末に接続してください。microSDカードリーダライタケーブルの接続方法については、付属の取扱説明書をご覧ください。
また、microSDカードをお持ちでない場合は、別途お求めいただく必要があります。

- microSDカードリーダライタケーブルを接続し、使用可能状態になると、音声通話発着信、パケット通信などはご利用になれません（本端末は機内モードになります）。
  microSDカードリーダライタケーブルを取り外すか、長時間（150分程度）接続したままにしていると、機内モードは自動的に解除されます。
- microSDカードリーダライタケーブルは、ドコモminiUIMカードを挿入していない状態では使用できません。また、圏外、および国際ローミング中は使用できません。
- microSDカードリーダライタケーブルを無効にするには、通知パネルを開いて通知をタップします。
- アプリケーションによっては、データやファイルをmicroSDカードに保存するものがあります。
- 電話帳を本端末とmicroSDカードの間でインポート／エクスポートする場合は☞P.100

- 本端末とmicroSDカードの間でデータをバックアップ／復元する場合は☞P.134
- 本端末とmicroSDカードの間でファイルのコピー／移動を行う場合は☞P.164

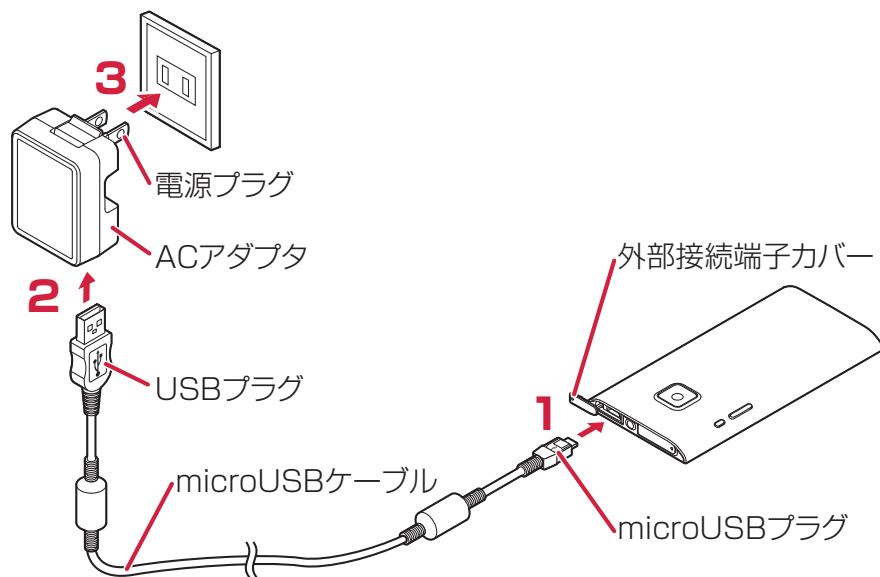
充電

■ 充電時のご注意

- 付属のACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で利用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 端末を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。また、データ通信や通話など消費電流の大きい機能を連続して使用すると、充電中でも電池が減り続け、電池切れに至る場合があります。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 充電したまま端末を長時間おくと、充電を繰り返すことがあります。また、充電が終わったあと端末は内蔵電池から電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れの警告が表示されてしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を開始してください。再充電の際は、端末を一度ACアダプタケーブル、DCアダプタから外して再度セットし直してください。

■ 内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。
- 充電しながらアプリケーション（ゲーム）などを長時間行うと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。

ACアダプタケーブルを使って充電する

1 **付属のmicroUSBケーブルのmicroUSBプラグを、USBマーク（USBマーク）を上にして外部接続端子に水平に差し込む**

- 外部接続端子カバーの開けかたについては☞P.30

2 **microUSBケーブルのUSBプラグを、USBマークを手前にしてACアダプタのUSBコネクタに水平に差し込む**

3 **ACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用などのAC100Vのコンセントへ差し込む**

4 **充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く**

5 **microUSBケーブルをACアダプタと端末から抜く**

■充電中・充電完了時の表示について

	着信／充電ランプ	電池アイコン
充電中	赤色で点灯	現在の電池レベルからレベル6までを切り替えながら表示します。 レベル6　レベル5 レベル4　レベル3 レベル2　レベル1
充電完了	消灯	

- 端末の電源を切っているときは、電池アイコンは表示されません。電池が切れた状態で充電を開始すると、着信／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。もし、充電開始後に着信／充電ランプが長時間点灯しない場合は、端末を一度ACアダプタケーブルから外して、再度充電をやり直してください。再び同じ動作をする場合はACアダプタや内蔵電池の異常や故障が考えられますので、ドコモショップなど窓口までご相談ください。

■電池が切れそうになると

電池が切れそうになると、充電を促すメッセージが表示されます。電池残量がなくなると、電源を切る旨のメッセージが表示され、電源が切れます。

■DCアダプタ（別売）

DCアダプタは、自動車のシガーライターソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。詳しくはDCアダプタ 03の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- DCアダプタで充電中、ヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズをご使用ください。ヒューズは消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

パソコンを使って充電する

本端末とパソコンを付属のmicroUSBケーブルで接続すると、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコンとの接続方法については☞P.171

電源

電源を入れる

1 **⏻を2秒以上押す**

しばらくすると、ロック画面が表示されます。

電源を切る

1 **携帯電話オプションメニューが表示されるまで、⏻を押したままにする**

2 **[電源を切る]▶[OK]**

- 電源を切る際に時間がかかる場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

ディスプレイの表示が消えたら

本端末を一定時間操作しなかったときは、自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

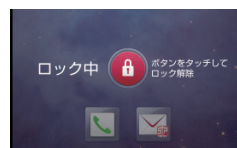
1 **⏻を押す、または ⌂ をロングタッチ**

スリープモードが解除され、ロック画面が表示されます。

- 手動でスリープモードにする場合は、ディスプレイ表示中に⏻を押します。

ロック画面を解除する

1 **🔒をタップ**

- 「セキュリティ」を設定している場合は、設定した解除方法を行います。

ロック画面

基本操作（タッチパネルの使いかた）

タッチパネルの操作

本端末のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- お買い上げ時にタッチパネルに貼られているシートをはがしてからお使いください。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作

■タップする

画面の項目やアイコンをトンとたたいて選択します。

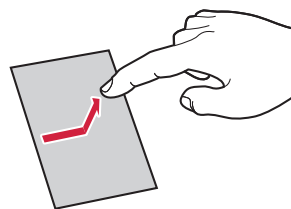
■ダブルタップする

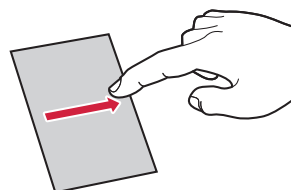
ウェブページを拡大したいときにすばやく2回続けてタップします。再度ダブルタップすると縮小します。

■ロングタッチする

画面の項目やアイコンを指で押さえたままにします。ポップアップメニューなどを表示する場合に使います。

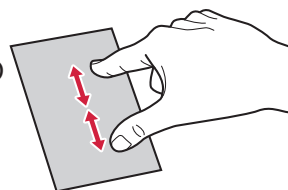
■フリックする

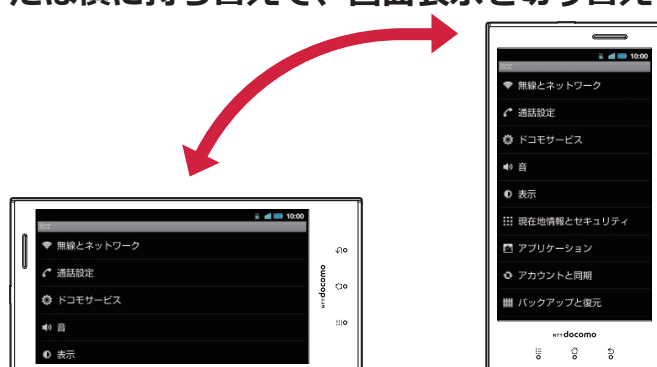
複数のページやデータがあるときに画面を左右にすばやくはらうように触れると、前後の画面に切り替わります。

■ドラッグする

画面の項目やアイコンを指で押さえながら移動します。

■スクロールする

画面を上下左右方向にフリック／ドラッグして、隠れている部分を表示します。

■ピンチする（広げる・狭める）

ウェブページや静止画などの表示中に、画面を2本の指で広げる（ピンチアウト）と拡大し、つまむ（ピンチイン）と縮小します。

縦／横画面表示を切り替える

端末の向きや動きを検知するモーションセンサーによって、端末を縦または横に持ち替えて、画面表示を切り替えることができます。

お知らせ

- 端末を垂直に近い状態で操作してください。水平に寝かせると向きや動きの変化を正しく検知できず、画面表示が切り替わらない場合があります。
- 表示中の画面によっては、端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

画面表示／アイコン

アイコンの見かた

ステータスバーには端末の状態を示すアイコンが表示されます。
ステータスバーの左側には通知アイコン、右側にはステータスアイコンが表示されます。

ステータスバー

■ 主な通知アイコン

アイコン	説明	参照先
	新着Gmail	P.150
	新着Eメール	P.148
	新着spモードメール	P.143
	新着メッセージ（SMS）	P.145
	メッセージ（SMS）の送信失敗	P.144
	留守番メッセージ	P.103
	新着インスタントメッセージ	P.155
	カレンダーの予定	P.196
	楽曲再生中	P.182
	Wi-Fiのオープンネットワークが利用可能	P.85
	Bluetooth通信でファイル着信	P.168
	VPN接続／切断	P.170
	USB接続中	P.171
	USBテザリング利用中	P.113
	Wi-Fiテザリング利用中	P.114
	USBテザリングとWi-Fiテザリング利用中	P.113 P.114
	エラーメッセージ	–
	通話中	P.89
	不在着信	P.94

アイコン	説明	参照先
	応答保留中／通話保留中	P.92 P.93 P.106
	データのアップロード	–
	データのダウンロード	–
	Androidマーケットなどからのアプリケーションがインストール完了	P.184
	Androidマーケットのアプリケーションがアップデート可能	P.184
	非表示の通知あり	P.51
	ecoモード中	P.200
	セキュリティロック解除中	P.128
	温度異常	P.224
	充電異常	P.224

■ 主なステータスアイコン

アイコン	説明	参照先
※1	電波状態	–
※1	ローミング中	P.212
	圏外	–
※1	GPRS使用可能	P.215
※1	GPRS通信中	P.215
※1	EDGE使用可能	P.215
※1	EDGE通信中	P.215
※1	3G（パケット）使用可能	P.215
※1	3G（パケット）通信中	P.215
	機内モード	P.112
※1	Wi-Fi接続中	P.85
	Bluetooth機能ON	P.166

アイコン	説明	参照先
	Bluetooth機器接続中	P.166
	データ同期中	P.132
	おサイフケータイ ロック設定中	P.190
	ドコモminiUIMカード未挿入	P.37
	アラーム設定中	P.193
	スピーカーフォン ON	P.93
	マイク ミュート	P.93
	マナーモード（バイブ ON）	P.119
	マナーモード（バイブ OFF）	P.92
	要充電	P.42
	電池残量が少ない	P.42
	電池残量十分	P.44
	充電中	P.44
	GPS測位中	P.123

※1 ネットワークのアイコンは、Googleアカウントを設定していない場合や、アカウントと同期の設定の[バックグラウンドデータ]のチェックを外している場合など、白色で表示されます。

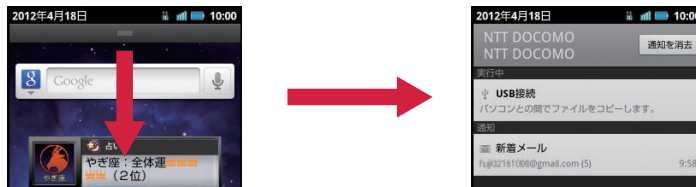
お知らせ

- P-04Dは有機ELディスプレイを採用しています。同じ画像を長く表示したり、画面を必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変化する場合があります。また、ちょっとした環境の変化などで点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができたり、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらはすべて有機ELディスプレイの構造と特性によるもので故障ではありません。

通知パネル

通知アイコンが表示されたら、通知パネルを開いてメッセージや予定などの通知を確認できます。

通知パネルを開く

1 ステータスバーを下にドラッグ

- 通知をタップすると、詳細を確認したり必要な設定を行ったりすることができます。
- [通知を消去]をタップすると、通知パネル内の表示が消去されます。ただし、通知内容によっては消去できない場合があります。

通知パネルを閉じる

1 通知パネル下のバーを上にドラッグ、または［戻る］をタップ

文字入力

本端末では、文字入力欄をタップし、表示されるキーパッドを使用して文字を入力できます。また、手書きで文字を入力することもできます。

入力方法を切り替える

本端末では、3種類の入力方法を使用して文字を入力できます。

1 文字入力欄をロングタッチ

2 [入力方法]▶[Androidキーボード]／[クイック手書き]／[フィットキー]

フィットキーで入力する

以下の2種類のキーパッドを切り替えて、文字を入力します。

■テンキーパッド

日本語をかな入力で行う場合に使用します。

■QWERTYキー（フルキー）パッド

日本語をローマ字入力で行う場合に使用します。

テンキーパッドで文字を入力する

1 文字入力欄をタップ▶キーパッドの あA1 をロングタッチ

2 [テンキー⇔フルキー]

- キーパッドを閉じるには［↩］をタップします。

❶	現在使用している入力モードを表示します。 あ：ひらがな漢字　A：全角英字　12：半角数字 カ：全角カタカナ　AB：半角英字　☺(^^)：絵文字／記号 ｶﾅ：半角カタカナ　1：全角数字
❷	文字を逆順で表示します。 確定した直後にタップすると、確定前の表示に戻ります。
❸	カーソルを左右に移動します。
❹	絵文字／記号入力モードに切り替えます。
❺	タップするたびに英字／数字／かな入力モードを切り替えます。 入力モードごとにロングタッチ▶[テンキー⇔フルキー]をタップして、テンキーパッドとQWERTYキーパッドを切り替えます。 ロングタッチ▶[入力モード切替]をタップして、全角／半角を切り替えます。
❻	キーに割り当てられている文字を入力します。 目的の文字が表示されるまで続けてタップする方法や、文字入力キーをタッチしたまま、目的の文字の方向にフリックする方法があります。 文字を入力すると、予測変換候補が表示されます。
❼	カーソルの左側にある文字を削除します。
❽	スペースを入力します。 文字入力時にタップすると、変換候補を表示します。
❾	入力した文字を確定したり、改行したりします。 起動している機能を、入力した文字で実行します。

QWERTYキーパッドで文字を入力する

1 **文字入力欄をタップ▶キーパッドの をロングタッチ**

2 **[テンキー⇔フルキー]**

- キーパッドを閉じるには をタップします。

❶	キーに表示されている文字を入力します。 文字を入力すると、予測変換候補が表示されます。
❷	大文字／小文字を切り替えます。
❸	タップするたびに英字／数字／ローマ字入力モードを切り替えます。入力モードごとにロングタッチ▶[テンキー⇔フルキー]をタップして、テンキーパッドとQWERTYキーパッドを切り替えます。ロングタッチ▶[入力モード切替]をタップして、全角／半角を切り替えます。
❹	絵文字／記号入力モードに切り替えます。
❺	スペースを入力します。
❻	カーソルの左側にある文字を削除します。
❼	入力した文字を確定したり、改行したりします。
❽	カーソルを左右に移動します。

絵文字や記号を入力する

絵文字／記号入力モードでは、絵文字D／絵文字／記号／顔文字入力を利用できます。文字入力欄によっては、絵文字D／絵文字が入力できない場合があります。

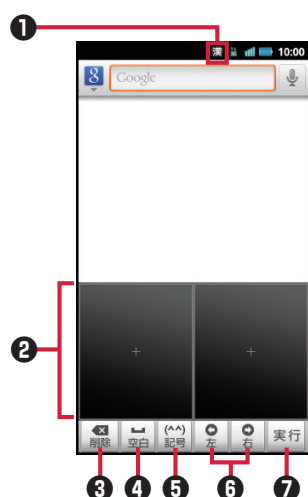
1 をタップして絵文字／記号入力モードに切り替える

❶	絵文字D／絵文字／記号／顔文字入力を切り替えます。
❷	画面を上下にスクロールして、入力したい絵文字D／絵文字／記号／顔文字をタップします。 • 絵文字D一覧、絵文字一覧、記号一覧上部に最近使用した絵文字や記号が表示されます。
❸	絵文字／記号入力モードを終了します。
❹	画面を上下にスクロールします。 • 絵文字D一覧、絵文字一覧ではカテゴリ単位で画面を上下にスクロールできます。
❺	カーソルの左側にある絵文字D／絵文字／記号／顔文字を削除します。

手書きで文字を入力する

1 **文字入力欄をロングタッチ**

2 **[入力方法]▶[クイック手書き]**

3 **文字入力枠に手書きで入力**

❶	入力可能な文字を表示します。 漢：漢字／ひらがな／カタカナ／英字／数字／記号 あ：ひらがな／カタカナ／英字／数字 A1：英字／数字／記号 12：数字／記号 • 利用するアプリケーションによって自動で切り替わります。
❷	文字入力枠内に手書きで文字を入力します。 文字を入力すると、予測変換候補が表示されます。 • 文字入力枠をピンチアウト／ピンチインすると、枠を1マス／2マス／6マスに切り替えます。
❸	カーソルの左側にある文字を削除します。
❹	スペースを入力します。 文字入力時にタップすると、変換候補を表示します。
❺	絵文字／記号入力モードに切り替えます。 文字入力時にタップすると、全角／半角を切り替えます。 ロングタッチ▶[各種設定]をタップすると、クイック手書きの設定を変更できます。

❻	カーソルを左右に移動します。 • 文字入力時にカーソルを移動すると、手書きで入力した文字の認識候補一覧が表示されます。
❼	入力した文字を確定したり、改行したりします。 起動している機能を、入力した文字で実行します。

文字入力時のメニュー

文字をコピー／切り取り／貼り付ける

1 **文字を入力▶文字入力欄をロングタッチ**

2 **[語句を選択]／[すべて選択]**

3 **スライダーを上下左右にドラッグして文字を選択▶文字入力欄をロングタッチ**

4 **[切り取り]／[コピー]**

- コピーした文字を貼り付ける場合は、貼り付けたい位置にカーソルを移動し、文字入力欄をロングタッチ▶[貼り付け]をタップします。

文字入力の設定

文字入力に関する各種設定を行うことができます。

フィットキーの設定

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[言語とキーボード]

2 [フィットキー]▶以下の操作を行う

キー操作音	キーをタップするたびに音を鳴らします。
キー操作バイブ	キーをタップするたびに振動します。
フリックガイド	フリックガイドを表示します。
自動大文字変換	英字入力時に文頭文字を大文字にします。
キーボードタイプ	画面の向き、入力モードごとにキーボードのタイプを設定します。
音声入力	音声入力を利用するかどうかを設定します。
フリック入力	フリック方式の入力を有効にします。
フリック感度	フリック入力時のスライド感度を指定します。
トグル入力	フリック入力有効時もトグル入力を有効にします。
自動カーソル移動	文字入力時に自動でカーソルが移動する速度を設定します。
候補学習	変換で確定した語句を学習します。
予測変換	文字を入力すると変換候補を表示します。
入力ミス補正	入力間違いの修正候補を表示します。
ワイルドカード予測	読みの文字数から変換候補を推測します。
候補表示行数	候補表示の行数を設定します。
マッシュルーム	マッシュルーム拡張を使用します。
日本語ユーザー辞書	☞P.60
英語ユーザー辞書	英語ユーザー辞書の単語を編集します。
学習辞書リセット	☞P.61
ダウンロード辞書	サイトからダウンロードした辞書を有効にするかどうかを設定します。
iWnn IME	iWnn IMEのバージョンなどが表示されています。

クイック手書きの設定

1 ホーム画面▶ ▶[本体設定]▶[言語とキーボード]

2 [クイック手書き]▶以下の操作を行う

入力	**入力方式**	文字入力枠数を設定します。
	文脈補正	文字認識時に、文脈補正機能を利用するかどうかを設定します。
	自動確定	入力した文字が確定するまでの速度を設定します。 • 入力方式が1マス入力のときのみ設定できます。
	文字入力枠位置	文字入力枠の位置を設定します。 • 入力方式が1マス入力のときのみ設定できます。
	日本語アドレス入力	URL／Eメールアドレス入力時に、日本語入力を有効にします。
	全角空白入力	文字入力時に、スペースを全角で入力するかどうかを設定します。
変換	**予測変換**	文字入力時に変換候補を表示します。
	候補学習	変換で確定した語句を学習します。
	誤認識補正	認識間違いの修正候補も含めて、変換候補を表示します。
	ユーザー辞書	☞P.60
	候補学習リセット	☞P.61
操作音	**キー操作音**	キーをタップするたびに音を鳴らします。
バイブレーション	**文字記入バイブ**	文字入力枠に記入したときに、振動させるかどうかを設定します。
	キー操作バイブ	キーをタップしたときに、振動させるかどうかを設定します。
デザイン	**背景色**	文字入力枠の背景色を設定します。
	キーポップアップ	文字入力時にタップしたキーを拡大表示します。
初期化		クイック手書きの設定をお買い上げ時の設定に戻します。 • ユーザー辞書と候補学習はリセットされません。

クイック手書き	クイック手書きのバージョンなどが表示されています。

ユーザー辞書に登録する

かな入力モードでよく使う単語を日本語ユーザー辞書に登録しておくと、その読みを入力したとき変換候補として優先的に表示されます。

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[言語とキーボード]

2 フィットキーの場合

[フィットキー]▶[日本語ユーザー辞書]

- 半角英字入力モードで使用する英単語を登録する場合は、[英語ユーザー辞書]をタップします。

クイック手書きの場合

[クイック手書き]▶[変換]▶[ユーザー辞書]

3 ☰ ▶[登録]

4 [読み]の文字入力欄をタップ▶読みを入力

5 [表記]の文字入力欄をタップ▶単語を入力

6 [保存]

学習辞書をリセットする

一度入力した語句は自動的に記憶され、予測変換で変換候補として表示されます。学習辞書をリセットすると、学習した内容がすべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。

1. ホーム画面▶[☰]▶[本体設定]▶[言語とキーボード]

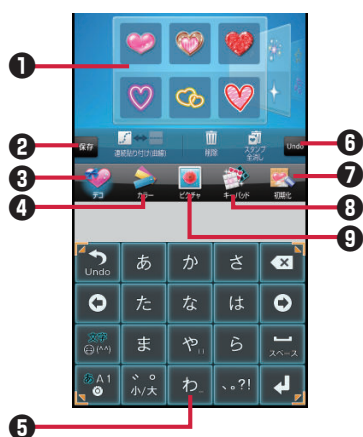
2. フィットキーの場合
   [フィットキー]▶[学習辞書リセット]

   クイック手書きの場合
   [クイック手書き]▶[変換]▶[候補学習リセット]

3. [OK]

フィットキーのカスタマイズ

自分の手に合わせてキーパッドのサイズや位置を調節できます。また、キーパッドをスタンプでデコレーションしたり、色や背景、キー形状を変更できます。

1 文字入力欄をタップ▶キーパッドの をロングタッチ▶[カスタマイズ]

❶ パレット
　左右にフリックして選択します。
❷ 編集データを保存します。
❸ スタンプ設定画面に切り替えます。
❹ カラー設定画面に切り替えます。
❺ キーパッドプレビュー
❻ キーパッドを1つ前の状態に戻します。
❼ 編集した内容をお買い上げ時の状態に戻します。
❽ キー形状設定画面に切り替えます。
❾ 背景設定画面に切り替えます。

2 キーパッドプレビューの四隅にあるガイドアイコンを外側／内側へドラッグしてサイズを決める▶キーパッドプレビューをドラッグして位置を決める

- 文字入力欄がキーパッドや候補表示で隠れてしまう場合、キーパッドのサイズを縮小することで文字入力欄を表示させることができます。

3 **スタンプを貼り付ける場合**

[デコ]▶パレットを選択▶貼り付けたいスタンプをタップ▶キーパッドプレビューで貼り付けたい位置をタップ▶必要に応じてスタンプの操作を行う(☞P.64)

色を変更する場合

[カラー]▶パレットを選択

- スライダーをドラッグして、色の透過率を調節します。
- [グラデーションON／OFF]をタップして、グラデーション／単色を切り替えます。

背景を変更する場合

[ピクチャ]▶パレットを選択

- USBストレージに最近保存した静止画から選択できます。他の静止画を選択したい場合は、[すべて見る]をタップします。
- [背景写真をアクティブ]をタップすると、静止画の表示位置を調節できます。
- 静止画を撮影して背景に設定するには、[カメラ起動]▶被写体をキーパッドプレビューに表示▶をタップします。

キー形状を変更する場合

[キーパッド]▶パレットを選択

4 **編集が完了したら[保存]▶[はい]**

編集データが保存され、キーパッドに反映されます。

■キーパッドプレビューでのスタンプの操作

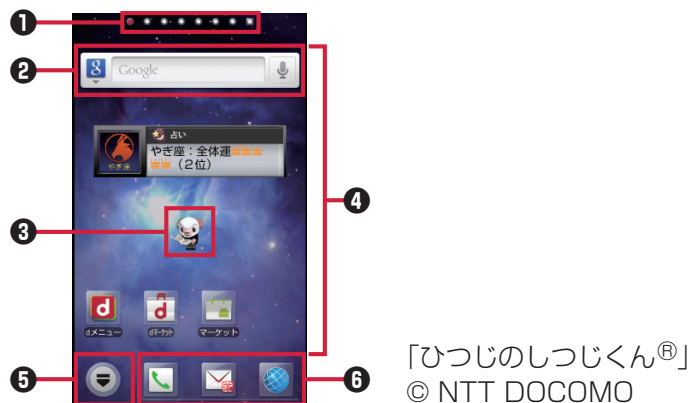
スタンプをタップすると、スタンプの周囲にスタンプガイドが表示されます。

操作	手順
移動	スタンプガイドを表示▶スタンプガイドの中央をドラッグ
等倍に拡大／縮小	スタンプガイドを表示▶スタンプガイドの周辺に指を置き、ピンチアウト／ピンチイン
縦／横に拡大／縮小	スタンプガイドを表示▶スタンプガイドの隅を拡大／縮小したい方向にドラッグ
回転	スタンプガイドを表示▶スタンプガイドの隅の外側を回転したい方向になぞる
コピー＆ペースト	スタンプガイドを表示▶スタンプガイドの中央をロングタッチ▶貼り付けたい位置をタップ • タップするたびにスタンプが貼り付けられます。終了するには[コピー]をタップします。
削除	スタンプガイドを表示▶[削除] • [削除]▶削除したいスタンプをタップしても削除できます。
すべて削除	[スタンプ全消し]▶[はい]
連続貼り付け	[連続貼り付け]をタップして（直線）／（曲線）を選択▶パレットを選択▶貼り付けたいスタンプをタップ▶キーパッドプレビューを指でなぞる

docomo Palette UI

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面で、⌂をタップすると表示されます。
ホームアプリには、docomo Palette UI、"フィットホーム"、"タッチスピードセレクター"、ランチャーの4種類があります。ここではdocomo Palette UIの操作を説明します。

「ひつじのしつじくん®」
© NTT DOCOMO

❶ インジケーター
ホーム画面の現在位置が表示されます。最大12シート（パーソナルエリア含む）まで表示され、画面を左右にフリックして切り替えられます。[パーソナルエリア]シートでは契約内容などを確認できます。

❷ クイック検索ボックス（☞P.68）

❸ マチキャラ
メール受信や着信などの情報をおしらせします。

❹ ショートカット、ウィジェット、フォルダ、グループを自由に配置できます。

❺ [パーソナルエリア]シート以外のすべてのシートに表示され、アプリケーション一覧画面を表示します。

❻ ドック
[パーソナルエリア]シート以外のすべてのシートに表示され、ショートカット、フォルダ、グループを配置できます。

■ New!アイコンについて

新規に購入（ダウンロード）したアプリケーションには、ホーム画面やアプリケーション一覧画面で✦（New!アイコン）が表示されます。

ホーム画面にショートカットなどを追加する

1 **ホーム画面▶背景部分をロングタッチ**

- アプリケーション一覧画面で対象のアプリケーションやグループをロングタッチし、[ホームへ追加]をタップしても追加できます。

2 **[ショートカット]／[ウィジェット]／[フォルダ]／[グループ]**

3 **追加したいショートカットなどを選択**

4 **ホーム画面に追加されたショートカットなどをロングタッチして、配置したい場所にドラッグ**

フォルダ名を変更する

1 **フォルダをタップ▶タイトルバーをロングタッチ**

- フォルダをロングタッチし、[名称変更]をタップしても変更できます。

2 **フォルダ名を入力▶[OK]**

ショートカットを削除する

1 **ホーム画面▶削除したいショートカットなどをロングタッチして、にドラッグ**

- にドラッグすると、ショートカットのアイコンが赤色に変わります。
- ショートカットなどをロングタッチし、[削除]をタップしても削除できます。

ドックのショートカットなどを変更する

1 **ホーム画面▶ショートカットなどをロングタッチして、ドックにドラッグ**

- ドックのショートカットなどを削除するには、ショートカットをロングタッチして、🗑にドラッグします。

アプリケーションやウィジェットをアンインストールする

1 **ホーム画面▶アンインストールしたいアプリケーションやウィジェットをロングタッチ▶[アンインストール]▶[OK]**

- アプリケーション一覧画面で対象のアプリケーションをロングタッチし、[アンインストール]▶[OK]をタップしてもアンインストールできます。

ホーム画面のきせかえを変更する

1 **ホーム画面▶背景部分をロングタッチ▶[きせかえ]**

2 **きせかえを選択▶[設定する]**

ホーム画面の壁紙を変更する

1 **ホーム画面▶背景部分をロングタッチ▶[壁紙]**

2 **壁紙の種類をタップ▶画像を選択**

- ["ピクチャアルバム"]で画像を選択した場合は、表示方法を選択して設定完了です。
- [ギャラリー]で画像を選択した場合は、トリミングする位置を決定し、[保存]をタップして設定完了です。

3 **[壁紙に設定]**

ホーム画面を追加する

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[ホーム画面一覧]▶[+]**

- [+]はホーム画面が11シート以下の場合に表示されます。

2 **ホーム画面をロングタッチして、配置したい場所にドラッグ**

- ホーム画面を削除するには、ホーム画面をロングタッチして、🗑にドラッグします。

端末内のアプリやウェブページの情報を検索する

1 **ホーム画面▶クイック検索ボックスの入力欄をタップ**

- アプリケーション一覧画面▶ ☰ ▶[検索]をタップしても検索できます。
- ☰ ▶[検索設定]をタップすると、検索対象の種類や設定を変更できます。

2 **▶検索対象をタップ▶キーワードを入力**

入力中の文字を含む検索候補が表示されます。

3 →

アプリケーション画面

アプリケーション一覧画面を表示する

アプリケーション一覧画面では、インストールされているアプリケーションがグループ別に表示されます。

1 ホーム画面▶

「ひつじのしつじくん®」
© NTT DOCOMO

❶ グループ名とアプリケーション数が表示されます。グループをタップして、アプリケーションアイコンの表示／非表示を切り替えられます。

❷ 各グループのアプリケーション一覧を表示します。

アプリケーション一覧

お買い上げ時に搭載されているアプリケーションの一覧です。

- 一部のアプリケーションの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがございます。
- アプリケーションの初回使用時、Androidマーケットからのアプリケーションのインストールが必要となる場合があります。

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	BOOKストアマイ本棚	dマーケットBOOKストアで購入した電子書籍を閲覧するためのアプリです。	－
	DLNA	Wi-Fi通信を利用して、DLNA対応機器とのデータのやりとりができます。	P.169
	dマーケット	dマーケットを起動するアプリです。dマーケットでは、音楽や動画、書籍などのコンテンツを購入することができます。また、Androidマーケット上のアプリを紹介しています。	－
	dメニュー	ｉモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。	－
	Flash Player Settings	Adobe® Flash® Playerについての設定を行うアプリです。	－
	Gmail	Googleアカウントのメールを送受信できます。	P.150
	Google+	Google+にログインして、他のユーザーとリンクや写真などを共有したり、メッセンジャーを利用してグループでチャットを行ったりできます。	－
	iD設定アプリ	電子マネーiDを利用するための設定を行うアプリです。	P.211
	ｉチャネル	ｉチャネルを利用するためのアプリです。	－
	Latitude	地図上で友人と位置を確認しあうことができます。	P.187
	Polaris Office	OfficeドキュメントやPDFファイルの閲覧ができます。	P.209

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	spモードメール	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。	P.143
	YouTube	YouTubeの動画の再生、投稿ができます。	P.192
	あんしんスキャン	端末をウイルス被害から守るアプリです。インストールしたアプリなどに潜むウイルスを検出します。	–
	エコナビ	ディスプレイの明るさなど各種設定を調整することにより、電池の消費を抑える「ecoモード」を設定するアプリです。	P.200
	エリアメール	緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリです。	P.153
	オートGPS	お客様の居場所に合わせて、天気情報やお店などの周辺情報、観光情報などをお知らせするオートGPS対応サービスをご利用になるためのアプリです。	–
	おサイフケータイ	おサイフケータイを利用できます。	P.188
	カメラ	静止画や動画を撮影します。	P.173
	カレンダー	スケジュールを管理できます。	P.195
	ギャラリー	静止画や動画を表示できます。	–
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリです。	–
	スマートアーチ	連携機能に対応しているノートパソコン「レッツノート」と本端末を連携させて、ファイルをコピーしたり、パソコンの画面を表示したりできます。	P.204
	ダウンロード	ウェブサイトからダウンロードしたファイルの一覧を表示します。	P.160
	タスクビューア	起動中のアプリケーションを確認、終了できます。	–

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	トーク	Googleトークを使用してチャットができます。	P.155
	ドコモバックアップ	電話帳などのデータをバックアップしたり、復元できるアプリです。	−
	ドコモ位置情報	イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービス、緊急通報位置通知にて位置情報を提供するためのアプリです。 また、各種設定変更や設定サイト・サービスサイトへのアクセスができます。	−
	トルカ	トルカの取得・表示・検索・更新などができます。	P.191
	ナビ	目的地への道案内を取得できます。	P.187
	ニュースと天気	気象情報やニュースを表示できます。	−
	バーコードリーダー	バーコードやQRコードをカメラで読み取ります。	P.206
	パーソナルプロテクト	簡単な設定でセキュリティを強化します。また、セキュリティを利用して他人に見られたくないファイルを管理したり、セキュリティアカウントでEメールを利用したりできます。	P.201
	ピクチャアルバム	静止画や動画を人物や年月などで分類して表示したり、ピクチャジャンプを利用してファイルのアップロードなどを行ったりできます。	P.179
	ピクメイト	パナソニックの写真共有サイトピクメイトに静止画や動画をアップロードできます。 アップロードしたファイルでアルバムを作成し、共有できます。	−
	ビデオ	Androidマーケット上の映画をレンタルして視聴できます。	−
	ファイル管理	本端末に保存されているファイルを管理します。	P.163
	ブラウザ	パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。	P.158

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	プレイス	近くにあるお店や施設をジャンル別に検索できます。	P.186
	ホーム切替	ホームアプリを切り替えるためのアプリです。	–
	マーケット	Androidマーケットを利用できます。	P.184
	マチキャラ	端末の画面にキャラクターを表示させるアプリです。キャラクターはウィジェット上で動き、メール受信や着信などの情報をおしらせします。	–
	マップ	現在地を確認したり、場所や経路を検索したりできます。	P.186
	メール	パソコンなどとEメールの送受信ができます。	P.147
	メッセージ	メッセージ（SMS）の送受信ができます。	P.144
	メッセンジャー	Google+と連携して、グループでチャットができます。	–
	メディアプレイヤー	音楽や動画を再生することができるアプリです。	P.182
	メモ	メモを作成・管理できるアプリです。	P.198
	音楽	音楽を再生します。	–
	音声検索	ウェブページの情報を音声入力で検索します。	–
	検索	端末内のアプリやウェブページの情報を検索します。	P.68
	声の宅配便	「声の宅配便」をスマートフォンでも簡単・便利に利用するためのアプリです。声のメッセージを簡単な操作で録音・再生することができます。	P.109
	災害用キット	災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリです。	–
	設定	本端末の各種設定を行います。	P.111
	地図アプリ	地図・お店や施設検索・ナビ・乗換・訪れた街などの機能でおでかけをサポートします。	–

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	電卓	加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。	P.199
	電話	電話をかけることができます。	P.89
	電話帳	電話帳の登録、管理ができます。	P.95
	電話帳コピーツール	USBストレージに電話帳データをコピーできるアプリです。	P.100
	時計	時刻と共に各種の情報やショートカットを表示したり、アラームを設定したりできます。	P.193
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。	P.4
	名刺作成	「電話帳」アプリ内のマイプロフィール欄に表示するオリジナルの名刺を作成するためのアプリです。	－

アプリケーションを移動する

1 **アプリケーション一覧画面▶アプリケーションをロングタッチして、配置したい場所にドラッグ**

グループを追加する

1 **アプリケーション一覧画面▶ [メニュー] ▶[グループ追加]**

2 **グループ名を入力▶[OK]**

3 **グループをロングタッチして、配置したい場所にドラッグ**

- グループ名や色を変更するには、グループをロングタッチし、[名称変更]／[ラベル変更]をタップします。
- グループを削除するには、グループをロングタッチし、[削除]をタップします。

アプリケーション一覧画面のレイアウトを変更する

1 **アプリケーション一覧画面▶ [メニュー] ▶[リスト形式]／[タイル形式]**

ホームアプリの設定

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[その他]▶以下の操作を行う

ホーム設定	自動通信などの設定を行います。
ヘルプ	ホームアプリのヘルプを表示します。
アプリケーション情報	ホームアプリのバージョンなどを表示します。

初期設定

初期設定

お買い上げ後、はじめて本端末の電源を入れた場合は、画面の指示に従ってGoogleアカウントやGPSの位置情報の設定を行います。

1 Androidをタップ▶[作成]

- 初期設定実行中に機能バージョンアップの案内画面が表示されたときは、[OK]をタップし、ドコモサービスについての設定を行うと直前の画面に戻って操作を続けられます。
- Androidが表示されている画面で[言語変更]をタップすると、使用する言語を変更できます。
- すでにGoogleアカウントをお持ちの場合は、[ログイン]をタップします。
- Googleアカウントを設定しない場合は、[スキップ]をタップします。

2 Googleアカウントに登録する名前と姓、希望するユーザー名（@gmail.comの前の部分）を入力▶[次へ]

3 パスワードを入力▶確認のためパスワードを再入力▶[次へ]

4 セキュリティ保護用の質問欄で質問を選択▶答え欄に任意の答えを入力▶予備のメール欄にすでにお持ちのメールアドレスを入力

- パスワードをお忘れになった場合、Googleのホームページで[セキュリティ保護用の質問]と[答え]を一致させれば、[予備のメール]にパスワードを送信できます。

5 [作成]

6 Google利用規約を確認▶[同意して次へ]

7 図で表示されている文字を入力▶[次へ]

8 位置情報についての内容を確認▶[次へ]

- Googleアカウントとともにデータを Googleのサーバーにバックアップする場合は、チェックを付けます。

9 [次へ]▶[セットアップを完了]

Googleアカウント

Googleアカウントを設定すると、Androidマーケットからのアプリケーションのダウンロードなどが可能となります。すでにGoogleアカウントをお持ちの場合は、既存のアカウントを本端末でご利用いただけます。

1. **ホーム画面▶ [メニューキー] ▶[本体設定]▶[アカウントと同期]**

2. **[アカウントを追加]▶[Google]▶[次へ]▶[作成]**
   - すでにGoogleアカウントをお持ちの場合は、[ログイン]をタップします。

3. **P.77「初期設定」手順2～7の操作を行う**

4. **同期するデータにチェックを付ける▶[完了]▶[セットアップを完了]**

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

- お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。ただし、契約内容によっては設定が異なる場合があります。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 **ホーム画面▶［☰］▶[本体設定]▶[無線とネットワーク]**

2 **[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]**

アクセスポイントを追加で設定する

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 **ホーム画面▶［☰］▶[本体設定]▶[無線とネットワーク]**

2 **[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶［☰］▶[新しいAPN]**

3 **[名前]▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶[OK]**

4 **[APN]▶アクセスポイント名を入力▶[OK]**

5 **その他、通信事業者によって要求されている項目を入力▶［☰］▶[保存]**

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面▶[メニュー]▶[本体設定]▶[無線とネットワーク]

2 [モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶[メニュー]▶[初期設定にリセット]

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 ホーム画面▶[メニュー]▶[本体設定]▶[無線とネットワーク]

2 [モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶[mopera U（スマートフォン定額）]／[mopera U設定]にチェックを付ける

お知らせ

- [mopera U設定]は、mopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- [mopera U（スマートフォン定額）]をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Eメール設定

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用できます。

- あらかじめアクセスポイントを設定してください（☞P.80）。

mopera Uのメールアカウントを設定する

mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、mopera Uメールをご利用になれます。

■ POPサーバーを利用する場合

1. **ホーム画面▶ ▶[メール]**
2. **mopera UメールアドレスとmoperaUのパスワードを入力▶[次へ]▶[POP3]**
3. **mopera Uのユーザー名とパスワードを入力▶POP3サーバーに[mail.mopera.net]を入力**
4. **セキュリティの種類欄で[なし]またはセキュリティを選択▶入力内容を確認▶[次へ]**
5. **SMTPサーバーに[mail.mopera.net]を入力▶mopera Uのユーザー名とパスワードの入力内容を確認▶[次へ]**
6. **オプションの設定画面▶メール自動確認の頻度などを設定▶[次へ]**
7. **メールアカウントの登録画面▶送信メールに表示される名前を入力▶[完了]**

一般プロバイダのメールアカウントを設定する

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 ホーム画面▶ ▶[メール]

2 メールアドレスとパスワードを入力▶[次へ]

3 画面に従って操作する

お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、手順2で[手動セットアップ]をタップし、アカウント設定を手動で入力します。
- 別のメールアカウントを追加したい場合は、メール一覧画面▶ ▶[アカウント]▶ ▶[アカウントを追加]をタップします。

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[無線とネットワーク]

2 [Wi-Fi]にチェックを付ける

Wi-FiがONになり、利用可能なWi-Fiネットワークを検索します。

3 [Wi-Fi設定]

検出されたWi-Fiネットワークのネットワーク名とセキュリティ設定（オープンネットワークまたはセキュリティで保護）がWi-Fiネットワークリストに表示されます。

- 手動でWi-Fiネットワークを登録する場合は、[Wi-Fiネットワークを追加]▶必要な情報を入力▶[保存]をタップします。
  セキュリティは[なし]／[WEP]／[WPA/WPA2 PSK]から選択します。

4 Wi-Fiネットワークを選択▶[接続]

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、[接続]をタップします。
- 接続中のWi-Fiネットワークを切断する場合は、Wi-Fiネットワークを選択して[切断]をタップします。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- 圏外等でWi-Fiネットワークが切断された場合、圏内に戻ったあとの自動接続に時間がかかることがあります。
- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力した場合、［アクセスが制限されています。］と表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても［アクセスが制限されています。］と表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。

■WPSについて

アクセスポイントが「WPS」に対応しているときは、簡単な操作でアクセスポイントに接続できます。

- プッシュボタン方式の場合は手順3で[WPSボタン方式]をタップし、アクセスポイントのWPSボタンを押します。
- PINコード方式の場合は手順3で[WPS PINコード方式]をタップし、端末に表示されたPINコードをアクセスポイントに入力します。

■Bluetooth機器との電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g/n）とBluetooth機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、Bluetoothを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- Bluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

スリープモード時の動作を設定する

スリープモード時や、充電中のWi-Fi機能の動作を設定します。

1. **ホーム画面▶［メニュー］▶[本体設定]▶[無線とネットワーク]**
2. **[Wi-Fi設定]▶［メニュー］▶[詳細設定]**
3. **[Wi-Fiのスリープ設定]▶設定したい動作を選択**

MACアドレスやIPアドレスを確認する

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[無線とネットワーク]**

2 **[Wi-Fi設定]▶ ☰ ▶[詳細設定]**

「MACアドレス」および「IPアドレス」が表示されます。

静的IPアドレスを利用する

静的IPアドレスを入力して、Wi-Fiネットワークに接続することもできます。

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[無線とネットワーク]**

2 **[Wi-Fi設定]▶ ☰ ▶[詳細設定]**

3 **[静的IPを使用する]にチェックを付ける**

4 **[IPアドレス]およびその他の入力項目を選択▶必要な情報を入力▶[OK]**

- 静的IPアドレスを有効にするには、[IPアドレス]、[ゲートウェイ]、[ネットマスク]、[DNS 1]の設定が必要です。

オンラインサービスのアカウント

mixiやTwitterなどオンラインサービスのアカウントを設定し、本端末と各サービスのサーバーとの間でデータの同期や送受信ができます。

- Exchangeアカウントを設定する場合は、設定情報などをネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 **ホーム画面▶ [メニューアイコン] ▶[本体設定]▶[アカウントと同期]**

2 **[アカウントを追加]▶追加したいアカウントの種類を選択**

3 **画面に従って操作する**

- 追加したアカウントは「アカウントを管理」リストに表示されます。アカウントをタップすると、各アカウントの設定ができます。

電話／ネットワークサービス

電話

電話をかける

1 **ホーム画面▶ ▶[電話]**

2 **[ダイヤル]タブ▶相手の電話番号を入力**

- 電話番号を間違えたときは、 をタップして入力した番号を消します。

3

4 **通話が終了したら[終了]**

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 日本国内では、ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 画面に[緊急通報]が表示されているときは、[緊急通報]をタップして緊急通報をかけられます。ただし、日本国内では、PINコードやPINロック解除コードの入力画面、ドコモminiUIMカードが完全にロックされた状態では、[緊急通報]をタップしても緊急通報をかけられません。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

1 **ホーム画面▶ ▶[電話]**

2 **[ダイヤル]タブ▶相手の電話番号を入力**

3 **▶[発信者番号通知]▶[通知する]／[通知しない]▶**

プッシュ信号を入力する

自宅の留守番電話、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスに利用します。

1 **ホーム画面▶ ▶[電話]**

2 **[ダイヤル]タブ▶電話番号を入力**

3 **▶[2秒間の停止を追加]**

「,」が入力されます。

4 **送信するプッシュ信号を入力▶**

電話がつながって約2秒後にプッシュ信号が自動的に送信されます。

- 手順3で[＊]をロングタッチした場合は、「；」が入力され、手動でプッシュ信号を送信できます。手順4のあと送信操作を行ってください。

国際電話の利用

- 海外での利用については☞P.212
- WORLD CALLについてのご不明な点は、「総合お問い合わせ先」（☞P.273）までお問い合わせください。

1 **ホーム画面▶ ▶[電話]**

2 **[ダイヤル]タブ▶＋（[0]をロングタッチ）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号の順に入力**

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 「＋」や国番号を入力せずに、 ▶[国際電話発信]をタップすると国番号や国際プレフィックスを選択して発信できます。

3

- [国際ダイヤルアシスト]（☞P.221）で[自動変換機能]にチェックを付けている場合は、「＋」を国際プレフィックスに変換して発信できます。

電話を受ける

1 **電話がかかってくる▶[操作開始]▶[通話]**

- 応答を保留する場合は、 ▶[応答保留]をタップします。
- 応答を拒否する場合は、[操作開始]▶[拒否]をタップします。

2 **通話が終了したら[終了]**

電話着信中に着信音を一時的に消す

1 **着信中▶ ／ **

マナーモード

マナーモードを設定すると、音楽や動画、アラーム以外の音を消すことができます。

1 ** を1秒以上押す▶[マナーモード]**

バイブの設定（☞P.119）によって、ステータスバーに ／ が表示されます。

- を押して着信音量を0にしてもマナーモードを設定できます。

■ マナーモードを解除する

1 **マナーモード設定中▶ を1秒以上押す▶[マナーモード]**

通話中の操作

❶ ［一時停止アイコン］：通話を一時保留
［再生アイコン］：保留解除
［切り替えアイコン］：通話相手を切り替え※1※2

❷ 通話を終了します。

❸ 別の相手に電話をかけます※1。

❹ ワイヤレスイヤホンセットを使用したハンズフリー通話に切り替えます※2。

❺ ダイヤルキーを表示し、プッシュ信号を送信します※2。

❻ 自分の声を相手に聞こえなくします※2。

❼ 相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します※2。

※1 キャッチホン（☞P.106）のご契約が必要です。

※2 再度タップするとタップ前の状態に戻ります。

お知らせ

- 通話中には音声入力を使うことができません。

相手の声の大きさを調節する

1 通話中▶［音量大キー］（音量大）／［音量小キー］（音量小）

通話履歴

1 ホーム画面▶ ▶[電話]

通話履歴画面が表示されます。

- 履歴を1件消去する場合は、消去したい履歴をロングタッチ▶[通話履歴から消去]▶[OK]をタップします。履歴を全件消去する場合は、通話履歴画面▶[着信履歴]／[発信履歴]▶ ▶[全件削除]▶[OK]をタップします。

通話履歴画面

❶ 名前や電話番号
タップして電話発信やメッセージ（SMS）の送信、連絡先の詳細表示／追加などができます。

❷ タップして階層下の履歴を表示
同じ名前や電話番号から連続して履歴が記憶された場合、1つにまとめて表示されます。

❸ ：通知あり発信（[発信者番号通知]（☞P.90）を[通知する]に設定、または「186」を付加した発信）
：通知なし発信（[発信者番号通知]（☞P.90）を[通知しない]に設定、または「184」を付加した発信）

❹ ：発信履歴
：着信履歴
：不在着信履歴

❺ 階層下の履歴件数

❻ タップして電話を発信

電話帳

電話帳に登録する

電話帳には名前や電話番号、メールアドレスなどを登録できます。

1 **ホーム画面▶▶[電話帳]**

2 **[登録]**

- 複数のアカウントがある場合は、登録するアカウントを選択します。

3 **必要な項目を入力**

- 画像の設定をタップすると、画像を登録できます。
- 追加／削除をタップすると、入力欄の追加／削除ができます。

4 **[登録完了]**

- 連絡先が表示されない場合は、表示オプション（☞P.97）のチェック項目を変更します。

連絡先をお気に入りに追加する

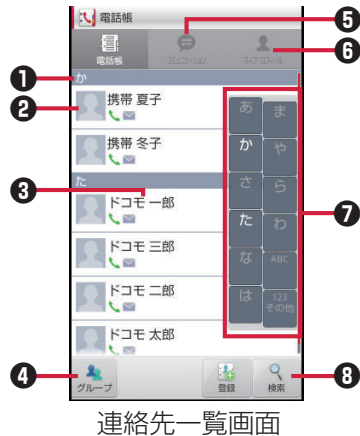
1 **ホーム画面▶▶[電話帳]**

2 **追加したい連絡先をタップ▶☆（グレー）**

☆が黄色に変わり、追加した連絡先が[お気に入り]グループや、[電話]の[お気に入り]タブの一覧に表示されます。

連絡先を確認する

1 ホーム画面▶ ▶[電話帳]

連絡先一覧画面が表示されます。

連絡先一覧画面

❶ インデックスバー
❷ タップして電話発信やメッセージ（SMS）の送信などができます。
❸ 名前
タップして連絡先の詳細を確認できます。
ロングタッチして連絡先の編集／削除などができます。
❹ タップしてグループを選択し、グループごとの連絡先を表示します。
❺ タップして通話履歴などを表示します。
❻ タップしてマイプロフィールを表示します（☞P.99）。
❼ インデックス
画面の右端をタップすると表示され、タップした文字のインデックスバーが先頭に表示されます。
❽ タップして検索欄にキーワードを入力し、連絡先を絞り込みます。

連絡先一覧画面のメニュー

1 連絡先一覧画面▶［メニュー］▶以下の操作を行う

削除		連絡先を削除します。
ヘルプ		電話帳と名刺交換のヘルプを表示します。
その他	**インポート／エクスポート**	☞P.98
	センターと同期	連絡先をバックアップセンターにバックアップします。
	電話帳の表示順	表示順を変更します。
	表示オプション	電話番号のある連絡先のみ表示したり、チェックを付けた項目に該当する連絡先のみ表示します。
	アプリケーション情報	電話帳アプリのバージョンなどを表示します。

連絡先をインポート／エクスポートする

ドコモminiUIMカードと本端末の間で連絡先をインポートしたり、連絡先をメールやQRコードで共有できます。

- USBストレージやmicroSDカードとの間でインポート／エクスポートする場合は☞P.100

■連絡先をインポートする

1 連絡先一覧画面▶ ☰ ▶[その他]▶[インポート／エクスポート]

2 [SIMカードからインポート]▶アカウントを選択

- [SDカードからインポート]は利用できません。

3 インポートしたい連絡先をロングタッチ▶[インポート]

連絡先が1件インポートされます。

- 全件インポートするには、 ☰ ▶[すべてインポート]をタップします。

■連絡先をエクスポートする

1 連絡先一覧画面▶ ☰ ▶[その他]▶[インポート／エクスポート]

2 [表示可能な連絡先を共有]▶利用したいアプリケーションを選択▶画面に従って操作する

- [SDカードにエクスポート]は利用できません。

マイプロフィール

お客様の電話番号を確認できます。また、お客様ご自身の情報を入力、編集できます。

1 ホーム画面▶[icon]▶[電話帳]

2 [マイプロフィール]タブ

マイプロフィール画面が表示されます。

3 [編集]▶必要な項目を入力▶[登録完了]

- [この名刺を交換する]をタップすると、近い場所にいる人と名刺交換ができます。
- [新規作成]／[名刺編集]／[名刺削除]をタップすると、名刺を作成／編集／削除できます。

マイプロフィール画面のメニュー

1 マイプロフィール画面▶[メニュー]▶以下の操作を行う

<table>
<tr><td colspan="2">共有</td><td>マイプロフィールをメールで送信したり、QRコードを作成したりします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">お知らせ</td><td>ｉコンシェルのお知らせを表示します。
• 2012年2月現在、ｉコンシェルはご利用いただけません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">名刺読み込み</td><td>名刺作成アプリを起動し、作成した名刺をマイプロフィールの名刺として登録します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">名刺履歴</td><td>名刺の送受信履歴を表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">全体設定</td><td>データ管理</td><td>マイプロフィールをドコモminiUIMカードからインポートできます。
• microSDカードとの間でインポート／エクスポートはできません。</td></tr>
<tr><td>名刺交換利用設定</td><td>名刺交換機能を利用するかどうかを設定します。</td></tr>
</table>

電話帳コピーツール

USBストレージに電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

- はじめてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

電話帳をUSBストレージにエクスポートする

1 ホーム画面▶ ▶[電話帳コピーツール]

2 [エクスポート]タブ▶[開始]

docomoアカウントに保存されている電話帳データがエクスポートされます。microSDカードにエクスポートする旨が表示されますが、USBストレージに保存されます。microSDカードリーダライタケーブルを使用している場合は、microSDカードに保存されます。

電話帳をUSBストレージからインポートする

1 ホーム画面▶ ▶[電話帳コピーツール]

2 [インポート]タブ▶インポートしたいファイルをタップ

microSDカードリーダライタケーブルを使用している場合は、microSDカード内のデータをインポートします。

3 [上書き]／[追加]

インポートした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピーする

1 ホーム画面▶ ▶[電話帳コピーツール]

2 [docomoアカウントへコピー]タブ▶コピーしたいGoogleアカウントをタップ

3 [上書き]／[追加]

コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

お知らせ

- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をエクスポートする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 電話帳をインポートする場合は、一括バックアップで作成したファイルは読み込むことができません。
- 電話帳コピーツールでエクスポートした電話帳を電話帳コピーツール以外でご利用される場合、正しく表示されないことがあります。

利用できるネットワークサービス

本端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用になれません。
- 「サービス停止」とは留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、本端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、「総合お問い合わせ先」（☞P.273）までお問い合わせください。

サービス名	月額使用料	お申し込み	参照先
留守番電話サービス	有料	必要	P.102
転送でんわサービス	無料	必要	P.104
キャッチホン	有料	必要	P.106
発信者番号通知サービス	無料	不要	P.107
公共モード（電源OFF）	無料	不要	P.108
声の宅配便	無料	不要	P.109

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージは1件あたり最長3分間、20件まで録音でき、72時間保存されます。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合には、通話履歴に不在着信として記録され、ステータスバーにが表示されます。
- 本端末は、テレビ電話の留守番電話サービスに対応しておりません。「1412」へ発信し、「非対応」に設定してください。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた方が伝言を録音する※1
ステップ3：伝言メッセージを再生する

※1 急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「#」を入力すると、すぐに録音できる状態になります。

留守番電話サービスを利用する

1 **ホーム画面▶ ▶[本体設定]▶[通話設定]**

2 **[ネットワークサービス]**

ネットワークサービス画面が表示されます。

3 **[留守番電話サービス]▶以下の操作を行う**

サービス開始	留守番電話サービスを開始します。
呼出時間設定	呼出時間（0～120秒）を入力します。 • 呼出時間を「0秒」に設定した場合、かかってきた電話は着信履歴に記憶されません。
サービス停止	留守番電話サービスを停止します。
設定確認	現在の設定内容を確認します。
メッセージ再生※1	留守番電話サービスセンターにつながったら、音声ガイダンスに従って伝言メッセージを再生します。
設定※1	留守番電話サービスセンターにつながったら、音声ガイダンスに従って設定を変更します。
メッセージ問合せ※1	伝言メッセージがあるかどうかを確認します。
件数増加鳴動設定	新しい伝言メッセージをお預かりしたときに、音とバイブレーションでお知らせします。

※1 各操作終了後に、「NTT DOCOMO VM:XX」というメッセージ（SMS）が受信されます。

転送でんわサービス

電波が届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、電話を転送するサービスです。

- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合には、通話履歴に不在着信として記録され、ステータスバーにが表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送先の電話番号を登録する
ステップ2：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ3：お客様の端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと指定した転送先に自動的に転送される

転送でんわサービスの通話料

- 発信者から転送でんわサービスのご契約者への通話料は、発信者の負担となります。
- 転送でんわサービスのご契約者から転送先への通話料は、ご契約者の負担となります。

お知らせ

- 転送でんわサービスを開始していても、着信音が鳴っている間に応答すればそのまま通話できます。

転送でんわサービスを設定する

1 ネットワークサービス画面▶[転送でんわサービス]▶以下の操作を行う

サービス開始	転送先の電話番号と呼出時間（0～120秒）を入力し、転送でんわサービスを開始します。 • をタップすると電話帳を呼び出せます。 • 呼出時間を「0秒」に設定した場合、かかってきた電話は着信履歴に記憶されません。
サービス停止	転送でんわサービスを停止します。
転送先変更	転送先の電話番号を変更します。 • をタップすると電話帳を呼び出せます。
転送先通話中時設定※1	転送先が通話中のとき、かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
ガイダンス設定	電話をかけてきた相手に、電話を転送することを告げる音声ガイダンスを流します。
設定確認	現在の設定内容を確認します。

※1 留守番電話サービスのご契約が必要です。

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

お知らせ

- 保留中も、電話を発信した方に通話料がかかります。

キャッチホンを設定する

1 **ネットワークサービス画面▶[キャッチホン]**

2 **キャッチホンサービスの開始／停止／設定確認の操作を行う**

通話を保留にして、かかってきた電話に出る

1 **通話中▶「ププ…ププ…」という音が聞こえる**

近接センサーから顔を離すと、着信画面が表示されます。

2 **[操作開始]▶[通話]**

最初の相手との通話を保留にして、あとからかかってきた電話に応答します。

3 **あとからかかってきた相手との通話を終了する場合**

[終了]

最初の相手との通話に切り替わります。

あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合

（切り替え）

最初の相手との通話に切り替わります。（切り替え）をタップするたびに通話相手が切り替わります。

通話を保留にして、別の相手に電話をかける

1 **通話中▶ （保留）をタップ**

最初の相手との通話が保留になります。

2 **[通話を追加]▶別の相手の電話番号を入力▶**

新しくかけた相手との通話ができます。

3 **新しくかけた相手との通話を終了する場合**

[終了]

最初の相手との通話に切り替わります。

新しくかけた相手との通話を保留にする場合

（切り替え）

最初の相手との通話に切り替わります。（切り替え）をタップするたびに通話相手が切り替わります。

発信者番号通知サービス

電話をかけたとき、自分の電話番号を相手の電話機に表示させることができます。

- 電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

1 **ネットワークサービス画面▶[発信者番号通知]**

2 **発信者番号通知サービスの設定／設定確認の操作を行う**

お知らせ

- 1回の通話ごとに発信者番号の通知／非通知を指定する設定のほうが、発信者番号通知の設定よりも優先されます（☞P.90）。

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）を設定すると、電源を切っている場合や機内モード設定中の場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

- 公共モード（電源OFF）とネットワークサービスを同時に設定している場合、留守番電話サービス※、転送でんわサービス※は、公共モード（電源OFF）に優先して動作します。

※ 呼出時間が「0秒」以外での電話に対しては、公共モード（電源OFF）のガイダンスのあとにサービスが動作します。

1 **ネットワークサービス画面▶[公共モード（電源OFF）設定]**

2 **公共モード（電源OFF）を設定する場合**
[サービス開始]▶[OK]

公共モード（電源OFF）が設定されます（ホーム画面上の変化はありません）。

公共モード（電源OFF）を解除する場合
[サービス停止]▶[OK]

公共モード（電源OFF）の設定を確認する場合
[設定確認]

公共モード（電源OFF）を設定すると

[サービス停止]▶[OK]をタップして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。
サービスエリア外または電波が届かないところにいるときも、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

声の宅配便

お客様に代わって音声メッセージをお預かりするサービスです。

- メッセージは1件あたり最長15分間、最大500件まで録音でき、720時間保存されます。また、最大5件までのメッセージを保護できます。（保護を解除して720時間経過すると、自動消去されます。）
- 海外からはご利用できません。
- 声の宅配便はお申し込み／月額使用料の不要なサービスです。ただし、メッセージの録音・再生などには通話料金がかかります。
- 詳細はドコモのホームページをご覧ください。

声の宅配便の基本的な流れ

ステップ1：声の宅配便で相手を指定し、発信する
ステップ2：音声ガイダンスに従い、メッセージを録音する
ステップ3：相手に録音通知メッセージ（SMS）※1で通知される
ステップ4：相手がメッセージを再生する
ステップ5：再生通知メッセージ（SMS）※2が届く

※1 発信者がメッセージを録音したあと、特定のボタンを押すか通話を終了した際に、受信者に対して録音通知メッセージ（SMS）が送信されます。

※2 受信者がメッセージを再生した際に、メッセージの発信者に対して再生通知メッセージ（SMS）が送信されます。受信者が同一のメッセージを複数回再生した場合でも、初回の再生時のみ再生通知メッセージ（SMS）が送信されます。
再生したことをメッセージの発信者に知らせたくない場合は、再生通知機能を停止してください。初期設定では再生通知機能は開始に設定されています。

メッセージを録音する

声の宅配便で相手に発信すると、メッセージを録音できます。

1. **ホーム画面▶ ▶[電話]**
2. **[ダイヤル]タブ▶相手の電話番号を入力▶[声の宅配便]**
   - 音声ガイダンスに従って操作してください。

メッセージを再生する

声の宅配便に録音されたメッセージを再生します。音声ガイダンスに従って操作すると、再生後に消去したり、保護したりできます。

1 録音通知メッセージ（SMS）に表示されている番号に発信

- 音声ガイダンスに従って操作してください。

声の宅配便を設定する

1 ネットワークサービス画面▶[声の宅配便]▶以下の操作を行う

サービス利用（アプリ起動）	アプリを起動して声の宅配便を利用します。
設定確認・変更（サイト接続）	サイトに接続して設定を確認／変更します。
設定確認・変更（音声発信）	電話発信して設定を確認／変更します。

各種設定

設定メニュー

ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]をタップして設定メニューを呼び出して、本端末の各種設定を行うことができます。

- 設定メニューは、ホーム画面▶ ▶[設定]をタップしても表示できます。

無線とネットワーク

1 **ホーム画面▶ ▶[本体設定]▶[無線とネットワーク]**

2 **以下の操作を行う**

機内モード		本端末のワイヤレス通信機能を無効にします。 • [機内モード]にチェックを付けるとWi-FiやWi-Fiテザリング、Bluetooth機能もOFFになります。
Wi-Fi		☞P.85
Wi-Fi設定	**ネットワークの通知**	Wi-Fiのオープンネットワークが検出されたら通知するように設定します。
	WPSボタン方式	☞P.86
	WPS PINコード方式	☞P.86
	Wi-Fiネットワークを追加	☞P.85
Bluetooth		☞P.166
Bluetooth設定	**端末名**	☞P.167
	検出可能	☞P.166
	検出可能時間のタイムアウト	☞P.166
	デバイスのスキャン	☞P.166
テザリングとポータブルアクセスポイント	**USBテザリング**	☞P.113
	ポータブルWi-Fiアクセスポイント	☞P.114
	ポータブルWi-Fiアクセスポイントの設定	☞P.115
	ヘルプ	テザリングのヘルプを表示します。
VPN設定	**VPNの追加**	☞P.170

モバイルネットワーク	データ通信を有効にする	モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にします。
	データローミング	☞P.218
	ネットワークモード	☞P.217
	アクセスポイント名	☞P.80
	通信事業者	☞P.217

USBテザリングを利用する

付属のmicroUSBケーブルでUSB対応のパソコンなどを本端末と接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続させることができます。

1 端末とパソコンをmicroUSBケーブルで接続する

- 接続方法については☞P.171「パソコンと接続する」手順1～2

2 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[無線とネットワーク]

3 [テザリングとポータブルアクセスポイント]▶[USBテザリング]

4 [注意事項の詳細]▶内容を確認▶ ⮌ ▶[OK]

USBテザリングが有効になります。

お知らせ

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（OS）は以下のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加／変更した環境での動作は保証いたしかねます。
  Windows 7、Windows Vista、Windows XP (Service Pack 3以降)
- お使いのパソコンの動作環境により、USBテザリングを利用してインターネットに接続しにくかったり、無効になる場合があります。その場合は、USBテザリングを再度有効にしてからご利用ください。
- OSがWindows XPの場合、USBテザリングを行うには専用のドライバが必要です。ドライバのダウンロードなどについては、下記のホームページをご覧ください。
  http://panasonic.jp/mobile/
- 本端末とパソコンを接続し、USBストレージが認識されている場合は、USBテザリングを利用できません。[USBストレージをOFFにする]をタップすると、USBテザリングを利用できます（☞P.172）。
- [データ移行モード]にチェックを付けている場合は、USBテザリングを利用できません。[データ移行モード]のチェックを外してください（☞P.134）。

Wi-Fiテザリングを利用する

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、無線LAN対応のパソコンなどをインターネットに最大5台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面▶ [メニュー] ▶[本体設定]▶[無線とネットワーク]

2 [テザリングとポータブルアクセスポイント]▶[ポータブルWi-Fiアクセスポイント]

3 [注意事項の詳細]▶内容を確認▶ [戻る] ▶[OK]

ポータブルWi-Fiアクセスポイントが有効になります。

- お買い上げ時は、ネットワークSSIDは「AndroidAP」、セキュリティは「WPA2 PSK」に設定されています。パスワードはランダムに設定されていますが、任意のパスワードに変更できます。

お知らせ

- Bluetooth機能をONにすると、ポータブルWi-Fiアクセスポイントは無効になります（☞P.166）。
- USBテザリングとWi-Fiテザリングは同時に利用できます。

ポータブルWi-Fiアクセスポイントを設定する

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[無線とネットワーク]**

2 **[テザリングとポータブルアクセスポイント]▶[ポータブルWi-Fiアクセスポイントの設定]**

3 **[Wi-Fiアクセスポイントを設定]▶必要な情報を入力**

- セキュリティの設定で[WPA2 PSK]を選択すると、パスワードを設定できます。

4 **[保存]**

通話設定

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[通話設定]

2 以下の操作を行う

ネットワークサービス	声の宅配便	☞P.109
	留守番電話サービス	☞P.102
	転送でんわサービス	☞P.104
	キャッチホン	☞P.106
	発信者番号通知	☞P.107
	迷惑電話ストップサービス	いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録できます。
	番号通知お願いサービス	電話番号が通知されない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。
	通話中着信設定	通話中にかかってきた電話に対して、ネットワークサービスで事前に設定しておいた方法で対応します。
	着信通知	電源が入っていないときや圏外にいたとき、通話中に着信があった場合、着信の情報をメッセージ（SMS）でお知らせします。 [全着信]：すべての着信を通知します。 [発番号あり]：番号を通知している着信のみ通知します。
	英語ガイダンス	各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定できます。
	遠隔操作設定	留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。
	公共モード（電源OFF）設定	☞P.108

発信番号制限※1	**発信番号制限をONにする／発信番号制限をOFFにする**	ONにすると、発信番号制限リストに登録した電話番号のみに発信ができます。
	PIN2を変更	☞P.127
	発信番号制限リスト	電話番号リストを管理します。 • リスト追加時の名前の入力には、半角英数字と半角記号のみ利用できます。
海外設定		☞P.221
通話詳細設定	**サブアドレス設定**	電話番号の「＊」以降をサブアドレスとして認識し、特定の電話機やデータ端末を呼び出します。 • サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。
	プレフィックス設定	電話番号の先頭に付くプレフィックス番号を登録し、電話をかけるときに付加します。 ▶☰▶[追加]▶名称と番号を入力▶[OK] • 電話をかけるときにプレフィックス番号を付加するには、☰▶[プレフィックス選択]▶プレフィックスを選択します。
	登録外着信拒否	電話帳に登録していない電話番号からの着信を拒否します。
アカウント		[アカウントを追加]をタップして、インターネット通話を行うためのSIPアカウントを設定します。また、インターネット通話で着信を受けたい場合は、[着信を許可]にチェックを付けます。
インターネット通話を使用		Wi-Fiネットワーク接続中にインターネット通話を利用して電話をかけるかどうかを設定します。

※1 ドコモminiUIMカードでは利用できません。

ドコモサービス

1 ホーム画面▶[menu]▶[本体設定]▶[ドコモサービス]

2 以下の操作を行う

アプリケーション管理	定期アップデート確認等の設定を行います。
Wi-Fi	Wi-Fi経由でドコモサービスを利用するための設定を行います。
ドコモアプリパスワード	ドコモアプリで利用するパスワードを設定／変更します。
オートGPS	オートGPS機能の設定を行ったり、測位した場所の履歴を表示したりします。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを確認できます。

音

1 ホーム画面▶［☰］▶［本体設定］▶［音］

音の設定画面が表示されます。

2 以下の操作を行う

マナーモード	マナーモードを設定／解除します。
バイブ	バイブレーションを常にON／OFFにするか、またはマナーモード設定中／解除中のみONにするかを設定します。 • Gmailを受信しても振動しません。
音量	☞P.120
着信音	電話着信音を設定します。
通知音	メッセージ（SMS）などを受信したときの通知音を設定します。
タッチ操作音	電話のダイヤルキー操作音のON／OFFを設定します。
選択時の操作音	メニュー選択時の操作音のON／OFFを設定します。
画面ロックの音	画面のロック／ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
入力時バイブレーション	特定の画面操作におけるバイブレーションのON／OFFを設定します。

音量を調節する

着信音や通知音、メディア再生音、アラームの音量を調節できます。

1 音の設定画面▶[音量]▶調節したい音のスライダーを左右にドラッグ

- [通知音にも着信音量を適用]のチェックを外すと、通知音のスライダーが表示され、着信音・通知音の音量を個別に調節できます。

2 [OK]

お知らせ

- ▲／▼で着信音量を調節できます。ただし、音楽や動画の再生中などは各機能の音量調節キーになります。
- 本端末は受話口とスピーカーを兼用しているため、通話終了直後に各種の音が鳴った場合は、設定した音量にかかわらず小さい音量で鳴り始め、設定した音量まで次第に大きくなります。

表示

1 ホーム画面▶ [☰] ▶[本体設定]▶[表示]

2 以下の操作を行う

画面の明るさ	画面の明るさを設定します。
画面の自動回転	端末の向きに合わせて縦／横画面表示を自動的に切り替えます。
アニメーション表示	画面や項目を表示するときに、アニメーション表示するかどうかを設定します。
画面消灯	無操作の状態が続いたときに、自動的にスリープモードになるまでの時間を設定します。
コントラスト補正	YouTubeやDLNAなどの映像をシーンに応じて自動的に明るく、色鮮やかにするかどうかを設定します。明るいシーンは鮮明な映像を、暗いシーンでもクッキリした映像を楽しめます。
ブラウザ省電力	ウェブページを読み込んでいる間、画面を微灯にするかどうかを設定します。
フォント設定	本端末で表示するフォントを設定します。
近接センサー	通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐためのセンサーを有効にします。
利き手設定	ユーザーの利き手情報を設定します。 • "タッチスピードセレクター"の画面に反映されます。

現在地情報とセキュリティ

1 **ホーム画面▶ [menu] ▶[本体設定]▶[現在地情報とセキュリティ]**

2 **以下の操作を行う**

無線ネットワークを使用	Wi-Fiやモバイルネットワーク基地局からの情報をもとに、現在地を検索します。
GPS機能を使用	より精度の高い位置情報を測位します。 • 視界が良好である必要があり、電池の消費が多くなります。無線ネットワークとの併用をおすすめします。
セキュリティ	☞P.128
SIMカードロック設定	☞P.126
端末パスワード設定	☞P.130
パスワードを表示	パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理者を選択	☞P.130
安全な認証情報の使用	端末内のアプリケーションにパスワード設定された認証情報ストレージへのアクセスを許可することで、認証情報や証明書を有効にします。
USBストレージからのインストール	暗号化された証明書をUSBストレージからインストールします。
パスワードの設定	認証情報ストレージパスワードを設定／変更します。
ストレージの消去	認証情報ストレージからすべての認証情報や証明書を消去して、ストレージのパスワードをリセットします。

GPSとは

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して本端末の位置情報を取得する機能です。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、本端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - 高圧線の近く
  - 自動車や電車などの室内
  - 大雨や雪などの悪天候
  - かばんや箱の中
  - 端末の周囲に障害物（人や物）がある

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

■各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、「総合お問い合わせ先」までご相談ください（☞P.273）。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、「総合お問い合わせ先」までご相談ください（☞P.273）。

画面ロック用PIN／パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。PINは4桁以上の番号、パスワードは英字を1文字以上含む4桁以上の番号を設定できます（☞P.128）。

端末パスワード

端末リセット時や他のアプリケーションからパスワードマネージャが呼び出されたときに入力する4～8桁の番号です（☞P.130）。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※1の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

※1「My docomo」については☞P.270

PIN1コード／PIN2コード

ドコモminiUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（☞P.126）。

PIN1コードは、第三者による本端末の無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。

PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PIN1／PIN2コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1／PIN2コードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

PINコードを設定する

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。

1 ホーム画面▶ [メニューアイコン] ▶[本体設定]▶[現在地情報とセキュリティ]

2 [SIMカードロック設定]

3 [SIMカードをロック]▶PIN1コードを入力▶[OK]

[SIMカードをロック]にチェックが付きます。

PIN1コードを変更する

1 P.126「PINコードを設定する」の手順1～3を行う

2 [SIM PINの変更]

3 現在のPIN1コードを入力▶[OK]

4 新しいPIN1コードを入力▶[OK]

5 新しいPIN1コードを再度入力▶[OK]

PIN1ロックを解除する

PIN1コードの入力を3回連続して間違えるとPIN1がロックされ、[SIMカードはPUKでロックされています]が表示されます。以下の操作でPIN1ロックを解除できます。

1 **をタップ**

- [10回間違えるとSIMカードがロックされます。]が表示されたら、[OK]をタップします。

2 **PINロック解除コード（PUK）を入力▶[次へ]**

3 **新しいPIN1コードを入力▶[次へ]**

4 **新しいPIN1コードを再度入力▶[次へ]**

PIN2コードを変更する

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[通話設定]**

2 **[発信番号制限]**

発信番号制限画面が表示されます。

3 **[PIN2を変更]**

4 **現在のPIN2コードを入力▶[OK]**

5 **新しいPIN2コードを入力▶[OK]**

6 **新しいPIN2コードを再度入力▶[OK]**

- 現在のPIN2コードの入力を3回連続して間違えてPIN2がロックされたら☞P.128「PIN2ロックを解除する」手順4

PIN2ロックを解除する

PIN2認証に3回連続して失敗し、[パスワードが正しくありません。PIN2を変更して再入力してください。]が表示されたら、以下の操作でPIN2ロックを解除できます。

1 **発信番号制限画面▶[PIN2を変更]**

2 **新しいPIN2コードを入力▶[OK]**

3 **新しいPIN2コードを再度入力▶[OK]**

4 **PINロック解除コード（PUK2）を入力▶[OK]**

セキュリティを設定する

他の人に使用されないように、様々なロック解除方法やパターンを利用して本端末をロックすることができます。また、Edyを搭載したICカードを本端末に登録することで、ICカードを利用してロックを解除することもできます。

- 「Edy（エディ）」は、楽天株式会社の子会社であるビットワレット株式会社を通じて運営するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- ICカードを登録する場合は、あらかじめおサイフケータイの初期設定を行ってください。

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[現在地情報とセキュリティ]**

位置情報とセキュリティの設定画面が表示されます。

2 **[セキュリティ]▶[さっそく設定]▶画面ロックのロック解除方法を選択▶画面に従って解除パターンを登録する**

3 [スキップ]

画面ロックが設定され、設定内容の確認画面が表示されます。[次へ]をタップすると、パーソナルプロテクトの説明を表示します。

- ICカードを登録する場合は、[登録する]をタップし、画面に従って登録したいICカードの中心付近を本端末のマークにかざして登録します。ICカードが認識されないときは、ICカードを前後左右にずらしてかざしてください。
- 設定内容の確認画面で[やり直す]をタップすると、画面ロックの解除方法を設定し直します。

セキュリティを無効にする

1 位置情報とセキュリティの設定画面▶[セキュリティ]

2 設定した解除方法を行う▶[なし]▶[はい]

- ICカードを登録している場合は、ICカードの設定も削除されます。
- [パターン設定]をタップすると、ロック解除方法を変更できます。
- [IC設定]をタップすると、ICカードの登録や変更、削除ができます。

お知らせ

- 電源を入れたあとやスリープモードを解除したあとのロック画面で、ロック解除パターンの入力を5回連続して間違えた場合は、再入力の画面で[パターンを忘れた場合]をタップしたあとGoogleアカウントでログインし、画面に従って新しいパターンを作成できます。Googleアカウントを設定している場合のみ[パターンを忘れた場合]が表示されます。
  また、PINやパスワードを忘れた場合は、画面ロックの解除ができませんのでご注意ください。
- ICカードを使ってのロック解除は日本国内でのみ使用してください。また、充電中はICカードを使ってのロック解除はできません。

端末パスワードを設定する

1 **ホーム画面▶ [メニュー] ▶[本体設定]▶[現在地情報とセキュリティ]**

位置情報とセキュリティの設定画面が表示されます。

2 **[端末パスワード設定]**

3 **端末パスワードを入力▶[OK]**

4 **端末パスワードを再度入力▶[OK]**

端末パスワードを変更する

1 **位置情報とセキュリティの設定画面▶[端末パスワード設定]**

2 **現在の端末パスワードを入力▶[OK]**

3 **新しい端末パスワードを入力▶[OK]**

4 **新しい端末パスワードを再度入力▶[OK]**

デバイス管理者を選択する

本端末の管理者の権限の有効／無効を設定します。

- おまかせロックを利用する場合は、「おまかせロック」を有効にする必要があります。2012年2月現在、おまかせロックはご利用いただけません。

1 **ホーム画面▶ [メニュー] ▶[本体設定]▶[現在地情報とセキュリティ]**

2 **[デバイス管理者を選択]▶管理者を選択▶[有効にする]／[無効にする]**

アプリケーション

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[アプリケーション]**

アプリケーション設定画面が表示されます。

2 **以下の操作を行う**

提供元不明のアプリ	Androidマーケット以外のサイトやメールなどから入手したアプリケーションのインストールを許可します。 • お使いの端末と個人データを保護するため、Androidマーケットなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。
アプリケーションの管理	☞P.131 • アプリケーションのデータやキャッシュを消去します。
実行中のサービス	現在実行中のサービスを表示／管理します。
ストレージ使用状況	アプリケーションのストレージ使用状況を表示します。
電池使用量	アプリケーションごとの電池使用量を確認できます。
開発	アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。

インストールしたアプリケーションを削除する

1 **アプリケーション設定画面▶[アプリケーションの管理]▶[ダウンロード済み]タブ**

2 **削除したいアプリケーションをタップ▶[アンインストール]▶[OK]▶[OK]**

アカウントと同期

1 ホーム画面▶ [メニュー] ▶[本体設定]▶[アカウントと同期]

アカウントと同期の設定画面が表示されます。

2 以下の操作を行う

バックグラウンドデータ	端末にインストールされているすべてのアプリケーションが、自動的にデータ通信を行うことを許可します。
自動同期	アプリケーションがデータを自動同期することを許可します。
アカウントを追加	☞P.88

同期させる項目を変更する

1 アカウントと同期の設定画面▶アカウントをタップ▶同期させる項目のみにチェックを付ける

手動で同期を開始する

1 アカウントと同期の設定画面▶同期したいアカウントをタップ▶ [メニュー] ▶[今すぐ同期]

同期を中止する

1 同期中▶ [メニュー] ▶[同期をキャンセル]

アカウントを削除する

オンラインサービスのアカウントを削除すると、本端末に保存されたアカウントのデータ（メッセージや電話帳、設定など）も削除されます。

- オンラインサービス上のデータは削除されません。

1 アカウントと同期の設定画面▶削除したいアカウントをタップ▶[アカウントを削除]▶[アカウントを削除]

お知らせ

- 最初に設定したGoogleアカウントは、[アカウントを削除]から削除できません。最初に登録したGoogleアカウントを削除するには、端末をリセットしてください（☞P.136）。
- docomoアカウントは削除できません。

バックアップと復元

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[バックアップと復元]

バックアップと復元の設定画面が表示されます。

2 以下の操作を行う

データのバックアップ	アプリケーションのデータや設定をGoogleサーバーにバックアップします。
自動復元	アプリケーションの再インストール時に、バックアップした設定やデータを復元します。
データ移行モード	ドコモショップなど窓口にてデータを移し替える際に設定します。 • 「USBテザリング」や「Wi-Fi」を利用中は設定できません。
メモリバックアップ	☞P.134
データの初期化	☞P.136

データをバックアップする

本端末の電話帳、受信／送信／未送信メッセージ（SMS）、ブックマーク、スケジュール、受信／送信／未送信spモードメールをUSBストレージまたはmicroSDカードにバックアップできます。

1 バックアップと復元の設定画面▶[メモリバックアップ]▶[USBストレージへバックアップ]／[外部メモリへバックアップ]▶端末パスワードを入力▶[OK]

- 端末パスワードが未設定の場合は☞P.130「端末パスワードを設定する」手順3～4

2 バックアップしたいデータをタップ▶[はい]

3 バックアップが終了したら[OK]

バックアップデータを端末に復元する

1 **バックアップと復元の設定画面▶[メモリバックアップ]▶[USBストレージから本体へ復元]／[外部メモリから本体へ復元]▶端末パスワードを入力▶[OK]**

2 **復元したいデータをタップ▶復元したいファイルをタップ▶[はい]**

3 **復元が終了したら[OK]**

- 未送信メッセージ（SMS）の場合は、本文のみが復元されます。復元した未送信メッセージ（SMS）をロングタッチ▶[転送]をタップすると、宛先を入力できます。

バックアップデータを削除する

1 **バックアップと復元の設定画面▶[メモリバックアップ]▶[USBストレージバックアップデータ削除]／[外部メモリバックアップデータ削除]▶端末パスワードを入力▶[OK]**

2 **削除したいデータをタップ▶削除したいファイルにチェックを付ける▶[削除実行]▶[はい]**

3 **削除が終了したら[OK]**

端末をリセットする

本端末をお買い上げ時の状態に戻します。

- この操作を行うと、ご購入後に本端末にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータは、一部を除きすべて削除されます。

1 **バックアップと復元の設定画面▶[データの初期化]▶端末パスワードを入力▶[OK]**

- 端末パスワードが未設定の場合は☞P.130「端末パスワードを設定する」手順3～4
- USBストレージ内の全データも消去する場合は、[USBストレージ内データを消去]にチェックを付けます。

2 **[携帯端末をリセット]**

- 画面ロックを設定している場合は、ロック解除パターンまたはPIN、パスワードを入力します。

3 **[すべて消去]**

リセットが完了すると端末が再起動します。

ストレージ

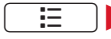
1 ホーム画面▶ [メニュー] ▶[本体設定]▶[ストレージ]

ストレージの設定画面が表示されます。

2 以下の操作を行う

合計容量	USBストレージの合計容量を表示します。
空き容量	USBストレージの空き容量を表示します。
USBストレージ内データを消去	☞P.137
空き容量	内部ストレージの空き容量を表示します。

USBストレージ内の全データを消去する

1 ストレージの設定画面▶[USBストレージ内データを消去]▶[USBストレージ内データを消去]

- 画面ロックを設定している場合は、ロック解除パターンまたはPIN、パスワードを入力します。

2 [すべて消去]

言語とキーボード

1 ホーム画面▶［ ］▶［本体設定］▶［言語とキーボード］

2 以下の操作を行う

言語を選択	使用する言語を設定します。
単語リスト	Androidキーボード用の単語リストに登録します。 ▶［ ］▶［追加］▶単語を入力▶［OK］
フィットキー	☞P.58
Androidキーボード	Androidキーボードのキー操作音や入力候補表示などを設定します。 • ［オートコンプリート］は、チェックを付けても有効になりません。
クイック手書き	☞P.59

音声入出力

1 ホーム画面▶ [メニュー] ▶[本体設定]▶[音声入出力]

2 以下の操作を行う

音声認識装置の設定	言語	音声によるテキスト入力で使用する言語を設定します。
	セーフサーチ	音声検索の結果にアダルトフィルタを設定します。
	不適切な語句をブロック	音声によるテキスト入力で不適切な語句を表示しないように設定します。
テキスト読み上げの設定	サンプルを再生	音声合成のサンプルを再生します。
	常に自分の設定を使用	常に[デフォルト設定]欄で設定した内容でアプリケーションが動作します。
	既定のエンジン	テキスト読み上げに使用する音声合成エンジンを設定します。
	音声データをインストール ※1	テキスト読み上げに必要な音声データが未インストールの場合、Androidマーケットからインストールします。 • 音声データには日本語のデータは含まれません。
	音声の速度	テキストの読み上げ速度を設定します。
	言語	テキスト読み上げに使用する言語を設定します。
	Pico TTS	インストールされている音声データを確認できます。

※1 音声データがインストールされている場合は選択できません。

ユーザー補助

1 **ホーム画面▶ [メニューキー] ▶[本体設定]▶[ユーザー補助]**

- [ユーザー補助アプリケーションが見つかりません]が表示されたら、[OK]をタップしてAndroidマーケットからスクリーンリーダーをインストールするか、[キャンセル]をタップします。

2 **以下の操作を行う**

ユーザー補助	ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助アプリケーションを有効にします。[ユーザー補助]にチェックを付けてから、有効にしたいアプリケーションにチェックを付けます。 • テキスト読み上げには音声データのインストールが必要です（☞P.139）。
電源ボタンで通話を終了する	[電源キー]を押して通話を終了できるようにします。

日付と時刻

お買い上げ時は[自動]に設定されていますので、日時を手動で設定する必要はありません。

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[日付と時刻]

2 以下の操作を行う

自動	ネットワーク上の日付、タイムゾーン、時刻を取得して自動的に補正します。
日付設定	年月日を手動で設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを手動で設定します。
時刻設定	時刻を手動で設定します。
24時間表示	時刻を24時間表示に切り替えます。
日付形式	年月日の表示方法を切り替えます。

端末情報

1 **ホーム画面▶ ▶[本体設定]▶[端末情報]**

2 **以下の操作を行う**

ソフトウェア更新	☞P.235
機能バージョンアップ	☞P.244
端末の状態	電池残量や電話番号などを確認できます。
電池使用量	アプリケーションごとの電池使用量を確認できます。
電池性能表示	お買い上げ時の内蔵電池に対して満充電時の電池容量の割合を表示します。 ● 本表示は目安ですので、使用感と異なる場合があります。
法的情報	オープンソースライセンス（GPL v2／LGPL含む）やGoogle利用規約を確認できます。
認証情報	☞P.142
モデル番号	型番を確認できます。
Androidバージョン	ソフトウェアのバージョンを確認できます。
ベースバンドバージョン	
カーネルバージョン	
ビルド番号	

端末認証情報を確認する

1 **ホーム画面▶ ▶[本体設定]▶[端末情報]**

2 **[認証情報]**

本端末の認証関連情報が表示されます。

お知らせ

- 認証関連情報が表示されなかった場合は、故障修理が必要です。ドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

メール／インターネット

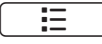
spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 **ホーム画面▶ ▶[spモードメール]**

2 **画面に従って操作する**

メッセージ（SMS）

携帯電話番号を宛先にして、全角最大70文字（半角英数字のみの場合は、最大160文字）の文字メッセージを送受信できます。

メッセージ（SMS）を作成して送信する

1 ホーム画面▶ ▶[メッセージ]

2 [新規作成]▶[To]欄▶送信先の携帯電話番号を入力

3 [メッセージを入力]欄▶メッセージを入力

- をタップして、Android搭載の端末で表示することができる絵文字を挿入できます。
- メッセージ（SMS）を下書き保存する場合は、宛先とメッセージを入力し、 を2回タップします。

4 [送信]

お知らせ

- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「＋」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのメッセージ（SMS）に返信する場合は、「010」を入力してください）。

メッセージ（SMS）を受信して読む

メッセージ（SMS）を受信すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、新着メッセージ（SMS）を確認できます。

1 ホーム画面▶ ▶[メッセージ]

メッセージ一覧画面が表示されます。

2 読みたいスレッドをタップ

メッセージ（SMS）に返信する

1 メッセージ一覧画面▶返信したいスレッドをタップ

2 メッセージを入力▶[送信]

メッセージ（SMS）を転送する

1 メッセージ一覧画面▶転送したいスレッドをタップ

2 転送したいメッセージ（SMS）をロングタッチ▶[転送]

3 [To]欄に転送先の携帯電話番号を入力▶[送信]

メッセージ（SMS）を削除する

1 **メッセージ一覧画面**

2 メッセージ（SMS）を1件削除する場合

削除したいスレッドをタップ▶削除したいメッセージ（SMS）をロングタッチ▶[メッセージを削除]

スレッドを1件削除する場合

削除したいスレッドをタップ▶ ☰ ▶[スレッドを削除]

- 削除したいスレッドをロングタッチ▶[スレッドを削除]をタップしても操作できます。

スレッドを全件削除する場合

☰ ▶[スレッドを削除]

3 **[削除]**

メッセージ（SMS）のオプション設定

1 **メッセージ一覧画面▶ ☰ ▶[設定]**

- メッセージ（SMS）の自動削除に関する設定や、通知設定などができます。

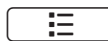
Eメール

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用できます。

- あらかじめアクセスポイント（☞P.80）、メールアカウント（☞P.83）を設定してください。

Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面▶ ▶[メール]

- 別のメールアカウントから送信したい場合は、 ▶[アカウント]をタップし、アカウント一覧画面でメールアカウントを選択します。
- 統合受信トレイが表示されている場合は、アカウント一覧画面でチェックの付いたメールアカウントから送信されます。

2 ▶[作成]

3 [To]欄▶メールアドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、 ▶[Cc／Bccを追加]をタップします。

4 [件名]欄▶件名を入力

5 [メッセージを作成]欄▶メッセージを入力

- ファイルを添付する場合は、 ▶[添付ファイルを追加]▶ファイルを選択します。

6 [送信]

お知らせ

- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからのメール受信拒否を設定していると、Eメールを送信できません。

Eメールを受信して読む

1 ホーム画面▶ ▶[メール]

Eメール一覧画面が表示されます。

- 複数のメールアカウントがある場合は、アカウント一覧画面でメールアカウントを選択します。
- アカウント一覧画面で[統合受信トレイ]をタップすると、すべてのメールアカウントのEメールが混在した受信トレイが表示されます。各メールアカウントはEメールの左側にあるカラーバーで区別されます。

2 受信トレイを更新するには ▶[更新]

3 読みたいEメールをタップ

Eメールに返信する

1 Eメール一覧画面▶返信したいEメールをタップ▶[返信]／[全員に返信]

2 メッセージを入力▶[送信]

Eメールを転送する

1 Eメール一覧画面▶転送したいEメールをタップ▶ ▶[転送]

2 [To]欄に転送先のメールアドレスを入力▶[送信]

Eメールを削除する

1 **Eメール一覧画面**

2 **1件削除する場合**
削除したいEメールをロングタッチ
複数選択して削除する場合
削除したいEメールにチェックを付ける

3 **[削除]**

フォルダの表示を切り替える

1 **Eメール一覧画面▶ ▶[フォルダ]**

2 **表示したいフォルダをタップ**

Eメールアカウントのオプション設定

1 **Eメール一覧画面▶ ▶[アカウントの設定]**

- 署名の設定や通知設定などができます。

Gmail

GoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信ができます。

- あらかじめGoogleアカウント（☞P.79）を設定してください。

Gmailを更新する

1 ホーム画面▶ ▶[Gmail]

受信トレイが表示されます。

2 ▶[更新]

端末のGmailアプリケーションとGmailアカウントを同期させて、受信トレイを更新します。

メールを作成して送信する

1 受信トレイ▶ ▶[新規作成]

2 [To]欄▶メールアドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、 ▶[Cc／Bccを追加]をタップします。

3 [件名]欄▶件名を入力

4 [メッセージを作成]欄▶メッセージを入力

- 画像を添付する場合は、 ▶[添付]▶画像を選択します。

5

新着メールを表示する

1 受信トレイ▶未読メールがあるスレッドをタップ

- ステータスバーに通知アイコンが表示されている場合は、通知パネルを開いて通知をタップしても、受信トレイを表示できます。

メールを検索する

1 受信トレイ▶ ☰ ▶[検索]

2 [メールを検索]欄▶キーワードを入力▶ 🔍

メールに返信する

1 返信したいメールを表示

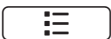
2 **1件の宛先に返信する場合**

↩

全員に返信する場合

◂ ▶[全員に返信]

3 [メッセージを作成]欄▶メッセージを入力

4 送信アイコン

メールを転送する

1 転送したいメールを表示

2 ◂ ▶[転送]

3 [To]欄▶メールアドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、 ☰ ▶[Cc／Bccを追加]をタップします。

4 [メッセージを作成]欄▶メッセージを入力

- 画像を添付する場合は、 ☰ ▶[添付]▶画像を選択します。

5 送信アイコン

メッセージスレッドの操作

1 **受信トレイ▶スレッドをロングタッチ▶以下の操作を行う**

開く	スレッドを展開します。
アーカイブ	スレッドをアーカイブ（保管）します。アーカイブされたスレッドは受信トレイに表示されません。
ミュート	スレッドを非表示にします。あまり重要でなく、以降のやりとりも表示する必要がないスレッドは非表示にしておくと便利です。
未読にする／既読にする	スレッドを未読／既読にします。
削除	スレッドを削除します。
スターを付ける／スターをはずす	スレッドにスターを付ける、またはスターを外します。
ラベルを変更	スレッドのラベルを追加／変更します。メールを分類するのに便利です。
迷惑メールを報告	受信したメールをスパムとして報告します。
ヘルプ	Googleモバイルヘルプが表示され、Googleが提供するモバイル用ソフトウェアの情報が確認できます。

Gmailのオプション設定

1 **受信トレイ▶［☰］▶[その他]▶[設定]**

- 署名や文字サイズの設定、通知設定などができます。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報を受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 下記のような場合は受信できません。※1
  - 国際ローミング中
  - 通話中
  - 機内モード中
  - 電源を入れたあとに表示されるPINコード入力画面表示中
  - 圏外のとき
  - 電源OFFのとき
- 下記のような場合は受信できないことがあります。※1※2
  - データ通信中
  - ソフトウェア更新中
  - USB接続で通信中
  - 本端末のメモリ容量が少ないとき

※1 受信できなかったメッセージを再度受信することはできません。

※2 受信できた場合でも、内容は自動表示されません。

緊急速報「エリアメール」受信

エリアメールを受信すると、エリアメール専用の警告音とバイブレーションでお知らせします。また、内容が自動的に表示されます。

- 警告音の音量、バイブレーションは固定されており変更できません。
- お買い上げ時は、マナーモード中でも警告音が鳴ります。鳴らないように設定できます（☞P.154）。

受信したエリアメールを読む

1 **ホーム画面▶ ▶[エリアメール]**

受信エリアメール一覧画面が表示されます。

2 **読みたいエリアメールをタップ**

緊急速報「エリアメール」設定

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 受信エリアメール一覧画面▶ [メニュー] ▶[設定]▶以下の操作を行う

受信設定	エリアメールを利用するかどうかを設定します。
マナーモード時設定	マナーモード中にエリアメールを受信したとき、警告音を鳴らすかどうかを設定します。
鳴動時間	警告音が鳴る時間を設定します。
着信時動作確認	エリアメールを受信したときの動作を確認できます。

Googleトーク

Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。本端末のGoogleトークを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- あらかじめGoogleアカウント（☞P.79）を設定してください。

オンラインチャット

新しいメンバーを追加する

1 ホーム画面▶ ▶[トーク]

友だちリストが表示されます。

2 ▶[友だちを追加]

3 追加したいメンバーのGoogleアカウントを入力▶[招待状を送信]

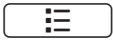
招待に応じる

1 友だちリスト▶[チャットへの招待]▶[承諾]

オンラインステータスを設定する

1 友だちリスト▶自分のアカウントをタップ

2 ステータス欄をタップ

3 設定したいオンラインステータスをタップ

- 必要に応じて[ステータスメッセージ]欄にステータスメッセージを入力します。入力したステータスメッセージは、次回オンラインステータスを選択するとき、カスタムメッセージとして表示されます。

4 [完了]

チャットを開始する

1 友だちリスト▶チャットしたい友だちの名前をタップ

チャット画面が表示されます。

2 [メッセージを入力]欄にメッセージを入力

- 絵文字を入力する場合は、[メニュー]▶[その他]▶[絵文字を挿入]▶絵文字を選択します。

3 [送信]

チャットの相手を切り替える

2人以上の相手とチャットしているとき、相手を切り替えることができます。

1 チャット画面▶[メニュー]▶[チャット相手の切替]

2 チャットしたい相手をタップ

チャットをオフレコにする

- チャットのメッセージはGmailの[チャット]ラベルに保存されますが、オフレコにすると保存されません。

1 チャット画面▶[メニュー]▶[オフレコにする]

以降のメッセージがオフレコになります。

チャットを終了する

1 チャット画面▶[メニュー]▶[チャット終了]

メンバーを管理する

友だちリストのメンバーは、オンラインステータス別（オンライン、取り込み中、オフライン）に表示されます。
設定によっては、Eメールやチャットの履歴が多いメンバーのみが優先的に表示されている場合があります。登録しているすべてのメンバーを表示するには、友だちリストで[メニュー]▶[全連絡先表示]をタップします。

1 友だちリスト▶メンバーの名前をロングタッチ

- メンバーの情報を表示したり、メンバーをブロックしたりできます。

Googleトークのオプション設定

1 友だちリスト▶[メニュー]▶[設定]

- 電源を入れたときの自動ログインや、通知設定などができます。

ログアウトする

1 友だちリスト▶[メニュー]▶[ログアウト]

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧したり、Flashを再生することなどができます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でウェブブラウザを利用できます。

ウェブブラウザを起動する

1 **ホーム画面▶ ▶[ブラウザ]**

ホームページが表示されます。

アドレスバー

2 **アドレスバーにURLまたはキーワードを入力**

- アドレスバーが表示されていない場合は、ウェブページを下にドラッグするか、 をタップします。
- アドレスバーをタップしてから をタップすると、音声検索ができます。

3 ** をタップ、または候補リストから表示したいウェブページを選択**

ウェブページ表示中の画面操作

操作		説明
縦表示／横表示		☞P.47
拡大／縮小	ピンチアウト／ピンチイン	☞P.47
	ダブルタップ	☞P.46
スクロール		☞P.47
テキスト選択コピー		画面のリンクが貼られていない場所をロングタッチ▶スライダーを上下左右にドラッグして、コピーしたいテキスト範囲を選択▶選択したテキストをタップ

ウェブページのリンク操作

1 **ウェブページ表示中▶リンクをロングタッチ▶以下の操作を行う**

開く	ウェブページを開きます。
新しいウィンドウで開く	ウェブページを新しいウィンドウで開きます。
リンクをブックマーク	URLをブックマークに追加します。
リンクを保存	ウェブページをUSBストレージに保存します。
リンクを共有	URLをBluetooth通信やメールで送信します。
URLをコピー	URLをコピーします。
画像を保存	画像をUSBストレージに保存します。
画像を表示	画像を表示します。
壁紙として設定	画像をホーム画面の壁紙に設定します。

ウェブページ表示中のメニュー

1 ウェブページ表示中▶［メニュー］▶以下の操作を行う

<table>
<tr><td colspan="2">新しいウィンドウ</td><td>ウェブページを新しいウィンドウで開きます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ブックマーク</td><td>ブックマーク一覧を表示します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ウィンドウ</td><td>ウィンドウ一覧を表示し、ウェブページを切り替えます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">再読み込み／停止</td><td>ウェブページを再読み込みします／ウェブページの読み込みを停止します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">進む</td><td>［戻る］をタップしてウェブページを表示中の場合、直前のウェブページに進みます。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">その他</td><td>ブックマークを追加</td><td>URLをブックマークに追加します。</td></tr>
<tr><td>ページ内検索</td><td>ウェブページ内のテキストを検索します。</td></tr>
<tr><td>ページ情報</td><td>ウェブページのURLを表示します。</td></tr>
<tr><td>ページを共有</td><td>ウェブページのURLをBluetooth通信やメールなどで送信します。</td></tr>
<tr><td>ダウンロード履歴</td><td>ウェブサイトからダウンロードしたファイル（Androidマーケット以外から入手したアプリケーション、画像、ドキュメントなど）を表示します。
• ホーム画面▶［アプリ］▶[ダウンロード]をタップしても表示できます。</td></tr>
<tr><td>設定</td><td>ウェブページの表示方法に関する設定やプライバシー設定、セキュリティ設定などができます。</td></tr>
</table>

ブックマークや履歴を管理する

ブックマークを追加する

1 追加したいウェブページを表示▶ ☰ ▶[ブックマーク]▶ ☰ ▶[最後に表示したページをブックマークする]

2 ブックマークの名前を確認／変更▶[OK]

ブックマークを編集する

1 ウェブページ表示中▶ ☰ ▶[ブックマーク]▶編集したいブックマークをロングタッチ▶[編集]

2 変更を入力▶[OK]

ブックマークを削除する

1 ウェブページ表示中▶ ☰ ▶[ブックマーク]

2 **1件削除する場合**
削除したいブックマークをロングタッチ▶[削除]
全件削除する場合
☰ ▶[全削除]

3 [OK]

履歴からウェブページを表示する

1 **ウェブページ表示中▶[メニューキー]▶[ブックマーク]▶[よく使用]タブ／[履歴]タブ**

- 履歴の☆（グレー）をタップすると、ブックマークに追加できます。

2 **表示したいウェブページをタップ**

履歴を削除する

1 **ウェブページ表示中▶[メニューキー]▶[ブックマーク]▶[履歴]タブ**

2 **1件削除する場合**

削除したい履歴をロングタッチ▶[履歴から消去]

全件削除する場合

[メニューキー]▶[履歴消去]

- 履歴を消去すると、[よく使用]タブの履歴も消去されます。

ファイル管理

ファイル管理

本端末やmicroSDカード内のファイルやフォルダを管理します。

1 ホーム画面▶ ▶[ファイル管理]

- をタップするとUSBストレージ内のファイルやフォルダを表示し をタップするとmicroSDカード内のファイルやフォルダを表示します。
- をタップすると、アイコンや操作の説明などを確認できます。

2 ファイル／フォルダをロングタッチ

3 以下の操作を行う

コピー	☞P.164
削除	ファイル／フォルダを削除します。
切り取り	☞P.164
名前の変更	ファイル／フォルダの名前を変更します。
送信	他のアプリケーションでファイル／フォルダの送信などを行います。
ZIP圧縮	ファイル／フォルダをzip形式に圧縮します。
ZIP解凍	zip形式のファイルを元の形式に解凍します。
プロパティ	ファイル／フォルダの情報を表示します。
キャンセル	元の画面に戻ります。

ファイルやフォルダをコピー／移動する

1 **ホーム画面▶ ▶[ファイル管理]**

2 **コピー／移動したいファイルやフォルダをロングタッチ**

3 **[コピー]／[切り取り]**

- 複数のファイルやフォルダをコピー／切り取りするには、 ▶コピー／切り取りしたいファイル／フォルダをタップ▶ ▶[複数コピー]／[複数切り取り]をタップします。
- をタップして、コピー／切り取りしたファイルやフォルダを確認できます。

4 **コピー／移動先のフォルダを表示▶ ▶[貼り付け]**

Bluetooth通信

本端末のBluetooth機能を利用して、近くにあるBluetooth機器と無線でデータをやりとりできます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては☞P.246
- 設定や操作方法については、接続するBluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
- 本端末とすべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

■ 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。本端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。
  特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 他の機器（電気製品／AV機器／OA機器など）からなるべく離して接続してください。（電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。）近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります。）
- 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器を鞄やポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と本端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切ってください。

■Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。

場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

- 電車内
- 航空機内
- 病院内
- 自動ドアや火災報知器から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Bluetooth機器と接続する

Bluetooth機能を持ったパソコンや携帯電話などと、Bluetooth通信でデータをやりとりできます。また、ワイヤレスイヤホンセットを接続して、ハンズフリーで通話したり、音楽を聴いたりすることができます。

- あらかじめ相手のBluetooth機能をONにして、接続可能になっていることを確認してください。

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[無線とネットワーク]

2 [Bluetooth]にチェックを付ける▶[Bluetooth設定]

Bluetooth設定画面が表示されます。

3 [デバイスのスキャン]

- 検出されたBluetooth機器がBluetooth端末リストに表示されます。
- [検出可能]にチェックを付けると、本端末が他のBluetooth機器から検出可能になります。検出可能時間は[検出可能時間のタイムアウト]で設定できます。

4 検出されたBluetooth機器を選択してペア設定を行う

5 必要な場合はパスコード（PIN）を入力▶[OK]

- 相手のBluetooth機器もパスコード（PIN）が必要な場合は、パスコード（PIN）を入力してください。
- ペア設定が完了すると、[ペア設定、非接続]や[携帯電話とメディアの音声に接続]などが機器名の下に表示されます。

お知らせ

- Bluetooth通信を使用しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- Bluetooth機能のON／OFF設定は、電源を切っても変更されません。
- ポータブルWi-Fiアクセスポイントを有効にすると、Bluetooth機能はOFFになります（☞P.114）。

端末名を変更する

Bluetooth通信を行ったときに、相手の機器に表示される本端末の名前を変更できます。

1 Bluetooth設定画面▶[端末名]▶名前を入力▶[OK]

Bluetooth通信でデータを送受信する

- アプリケーションによっては、Bluetooth通信による共有メニューを選択しても、データを送信できない場合や、受信したデータが利用不可能な場合があります。

Bluetooth通信でデータを送信する

画像やウェブページのURLなどを他のBluetooth機器に送信できます。

- 各アプリケーションの送信／共有のメニューから操作を行ってください。

Bluetooth通信でデータを受信する

1 送信側からデータを送信

データを着信すると、ステータスバーにが表示されます。

2 通知パネルを開く▶[Bluetooth共有：ファイル着信]▶[承諾]

- ステータスバーにが表示されたら、通知パネルを開いて受信が完了したことを確認します。

Bluetooth機器の接続を解除する

1 Bluetooth設定画面▶Bluetooth端末リストで解除したい機器をロングタッチ▶[ペアを解除]／[切断してペアを解除]

- メニューに[接続を解除]が表示された場合、タップして接続を一時的に解除できます。なお、接続の一時的解除は、Bluetooth端末リストで、解除したい機器をタップしても行えます。

DLNA機器接続

Wi-Fi通信を利用して、P-04Dと外部機器間で静止画や動画などのファイルを共有できます。

- P-04Dと外部機器を同じアクセスポイントに接続する必要があります（☞P.85）。アクセスポイントはIEEE802.11nの無線ブロードバンドルーターをお選びください。
- 使用できる外部機器など、最新の動作確認情報については下記サイト内の記載をご覧ください。
  http://panasonic.jp/mobile/
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

1 ホーム画面▶[▼]▶[DLNA]

2 以下の操作を行う

外部機器操作	接続可能な外部機器の一覧を表示します。外部機器を選択すると、外部機器に保存されているファイルが表示されます。
端末内コンテンツ操作	ピクチャアルバムを起動して端末内のファイルを表示します。
アクセス待ち受け	P-04Dを接続待ち状態にし、外部機器側から操作できるようにします。 • 外部機器側の操作については、外部機器の取扱説明書をご覧ください。
設定	DLNAに関する設定を行います。またスライドショー再生の際の間隔も設定できます。

VPN（仮想プライベートネットワーク）接続

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

VPNを追加する

1. **ホーム画面▶ ▶[本体設定]▶[無線とネットワーク]**
2. **[VPN設定]**
   VPN設定画面が表示されます。
3. **[VPNの追加]▶追加するVPNの種類をタップ**
   - ISPをspモードに設定している場合は、PPTPは利用できません。
4. **ネットワーク管理者の指示に従って各項目を設定▶ ▶[保存]**
   VPN設定画面のリストに、新たなVPNが追加されます。

VPNに接続する

1. **VPN設定画面▶接続したいVPNをタップ**
2. **必要な認証情報を入力▶[接続]**
   VPNに接続すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。

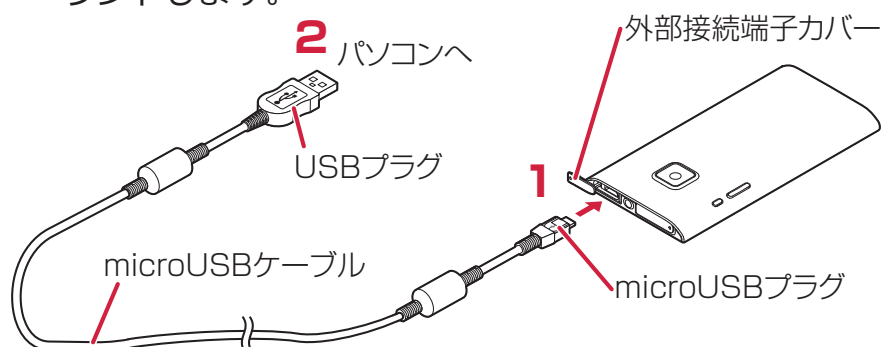
VPNを切断する

1. **通知パネルを開く▶VPN接続中を示す通知をタップ▶切断したいVPNをタップ**

外部機器接続

パソコンと接続する

付属のmicroUSBケーブルで本端末とパソコンを接続すると、端末のUSBストレージがパソコンのリムーバブルディスクとして認識され、端末のUSBストレージ内のデータをパソコンから読み書きできます。

- 端末でUSBストレージを使うアプリケーションを実行している場合は、アプリケーションを閉じてからUSBストレージをパソコンにマウントします。

1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグを、USBマーク（USBマーク）を上にして外部接続端子に水平に差し込む

- 外部接続端子のカバーをイラストの位置にしてください。外部接続端子カバーの開けかたについては☞P.30

2 microUSBケーブルのUSBプラグを、パソコンのUSBコネクタに水平に差し込む

USBマスストレージ画面が表示されます。

- USBマスストレージ画面を閉じている場合は、通知パネルを開いて通知をタップすると表示されます。

3 [USBストレージをONにする]

- [USBストレージをONにする]が表示された場合は、[OK]をタップします。必要に応じてUSBストレージを使用するアプリケーションを終了させてください。

4 **パソコン側▶「マイ コンピュータ」／「コンピュータ」／「コンピューター」を開く▶「リムーバブルディスク」を選択**

USBストレージ内のデータが表示されます。

5 **端末とパソコンの間で、ファイルをドラッグ＆ドロップ**

お知らせ

- USBストレージがパソコンにマウントされると、カメラなどUSBストレージを使用するアプリケーションは使用できません。

microUSBケーブルを安全に取り外す

- データ転送中にmicroUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

1 **USBマスストレージ画面▶[USBストレージをOFFにする]**

2 **microUSBケーブルを取り外す**

アプリケーション

カメラ

カメラをご利用になる前に

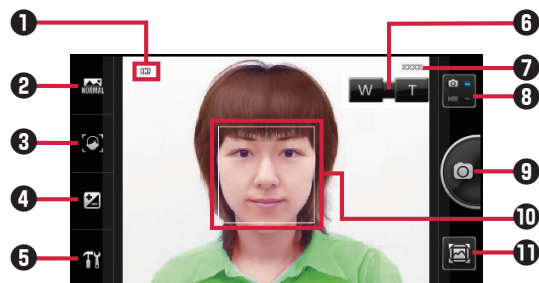
- 撮影前にレンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布できれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などの汚れが付いていると、フォーカスが合わなくなったり、撮影した静止画や動画に汚れが映ったりします。
- 撮影時は、レンズに指、髪などがかからないように注意してください。
- 撮影するときは、端末が動かないようにしっかりと持ってください。動くと画像がぶれる原因となります。薄暗いところでは特にぶれやすいのでご注意ください。
- レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起こすことがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、帯状の縞模様が上下または左右に流れて見える「フリッカー現象」が起こる場合があり、撮影のタイミングによっては、画像の色合いが変わることがあります。
- 日光の反射光などの部分的に極端に輝度の高い部分が含まれる被写体を撮影すると、明るい部分の一部分が黒い斑点になることがありますが、故障ではありません。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 電池残量が少ないときや温度異常が発生したときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合や再生不可能なファイルが生成される場合があります。
- やをタップしてから実際に撮影されるまでに多少の時間差があります。そのため、速く動いている被写体を撮影すると、やをタップしたときに画面に表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- マナーモード設定中でも、シャッター音、録画開始／終了音、フォーカスロック音は鳴ります。
- 撮影した静止画／動画は、自動的にUSBストレージに保存されます。
- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

撮影画面を表示する

1 **ホーム画面▶［アイコン］▶[カメラ]**

静止画撮影画面が表示されます。

- 動画撮影画面に切り替えるには［アイコン］をタップします。

静止画撮影画面

動画撮影画面

❶設定状態を示すアイコン☞P.175
❷撮影モード☞P.175
❸フォーカス設定☞P.176
❹露出値（明るさ）を調節
❺各種設定☞P.176
❻ズームバーを表示
❼撮影可能枚数
❽静止画／動画撮影切り替えボタン
❾シャッターボタン
❿フォーカスフレーム
⓫ポストビュー画面を表示
⓬シーンを設定
⓭画像サイズを設定
⓮録画時間

■設定状態を示すアイコン

項目	アイコン
セルフタイマー	3秒、5秒、10秒
画像サイズ	8MP 8M、6MP 6Mワイド、5MP 5M、3.7MP 3.7Mワイド、3MP 3M、2MP 2Mワイド、QHD QHD、VGA VGA
シーン	人物、風景、夜景、スポーツ、料理、逆光、ABC 文字、雪、夕焼け、ペット

■静止画の撮影モードを設定する

1 静止画撮影画面▶❷のアイコンをタップ▶以下の操作を行う

通常	通常の撮影モード
パノラマ	複数の静止画を撮影して連結します。をタップしたあと、白のフレームを緑の枠の中央に捉えるようにカメラを水平／垂直方向に動かします。
笑顔シャッター	笑顔を検出して撮影します。
連写	をロングタッチしている間、連続で最大7枚の静止画を撮影します。
電話帳画像	電話帳に登録する顔写真を撮影します。
フレーム	好みのフレームを付けて撮影します。
コラージュ	複数の写真を好みのテンプレートにはめ込みます。
ビューティー	顔色が美しく映えるように撮影します。
手ブレ防止シャッター	カメラのぶれが止まったときに撮影します。
ピンホール	四辺を暗くぼかします。

■ フォーカスを設定する

1 静止画撮影画面▶❸のアイコンをタップ▶以下の操作を行う

オート	をタップするとフォーカスフレーム内にピントを合わせます。
無限遠	遠景にピントを合わせます。
物体追尾	選択した被写体の動きに合わせてフォーカスフレームが移動し、ピントを合わせます。
顔認識	人の顔を検出してピントを合わせます。
コンティニュアス	フォーカスフレーム内に連続的にピントを合わせます。をタップしたときにピントが合っている場合は、フォーカス動作せず撮影します。動きのある被写体を撮影したいときに便利です。
接写	近距離の被写体にピントを合わせます。
タッチ	タップした位置にフォーカスフレームが移動し、ピントを合わせます。

■ 設定パネルから設定する

1 静止画／動画撮影画面▶▶以下の操作を行う

- 設定パネルでは、上下にドラッグしてメニューをスクロールできます。また、設定により表示されない項目があります。

シーン※1	撮影する場面に合わせて撮影モードを選択して撮影します。
色調	白黒やセピアなどの効果を付けて撮影します。
セルフタイマー※1	自動でシャッターが切れるまでの時間を設定します。
画像サイズ※1	画像サイズ（解像度）を設定します。
画質設定	画質を設定します。
ホワイトバランス	周囲の光源に合わせて色合いを補正します。
ISO※1	ISO感度を設定します。
暗部補正※1	暗部を明るく補正する機能のON／OFFを設定します。

現在地情報取得※1	位置情報を付けるかどうかを設定します。
グリッド表示※1	グリッド線の表示／非表示を設定します。
音声録音※2	音声を録音するかどうかを設定します。
ポストビュー	撮影後のポストビュー画面の表示／非表示を設定します。
撮影モード※2	メール添付用の動画を撮影するかどうかを設定します。
初期化	撮影の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

※1 静止画撮影のみ

※2 動画撮影のみ

静止画を撮影する

撮影モードが「通常」、フォーカスが「オート」の場合の操作を説明します。

1 静止画撮影画面▶

フォーカス動作後にシャッター音が鳴り、静止画を撮影します。
撮影した静止画がUSBストレージに保存されます。
[ポストビュー]がONの場合は、ポストビュー画面が表示されます。

動画を撮影する

1 動画撮影画面▶

録画開始音が鳴り、動画撮影が始まります。

2

録画終了音が鳴り、撮影した動画がUSBストレージに保存されます。
[ポストビュー]がONの場合は、ポストビュー画面が表示されます。

ポストビュー画面のアイコン

アイコン	説明
	YouTubeへのアップロード、Bluetooth通信やGmailでの送信などができます。
／	前／次のデータに切り替えます。
	静止画／動画の情報を表示します。
	撮影画面に戻ります。
※1	撮影した静止画を保存（設定）します。
	動画を再生します。
	データを削除します。
※1	撮影した静止画を破棄して撮り直します。

※1 連絡先の登録／編集画面などからカメラを起動した場合

ピクチャアルバム

ピクチャアルバムを起動してUSBストレージに保存した静止画や動画を表示できます。

■表示できるファイル

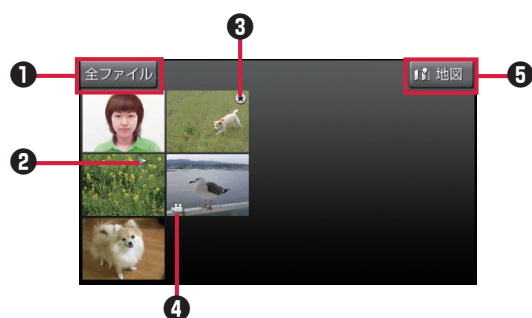
対応するファイル形式であっても操作できない場合があります。

種類	ファイル形式
静止画	BMP、JPG、GIF、PNG
動画	MP4、3GP、WebM

静止画／動画を表示する

1 ホーム画面▶ ▶[ピクチャアルバム]

全ファイル一覧画面が表示されます。

- ピンチアウト／ピンチインして一覧表示されるファイルの数を変更できます。

全ファイル一覧画面

❶ピクチャセレクタ
タップすると、画面の表示方法を切り替えられます。[フォルダ]／[年月]／[動画]／[人物]／[お気に入り]／[フリーワードタグ]をタップすると、ファイルを分類して表示します。
[全ファイル]をタップすると、全ファイル一覧画面が表示されます。

- [人物]の場合は、人物情報が含まれる静止画のみ分類されます。本端末で撮影した静止画は、[人物]では分類できません。

❷ ：位置情報マーク

❸ ：お気に入りマーク

❹ ：動画マーク

❺ 地図 ：タップすると、位置情報付きのファイルを地図上に一覧表示します。

2 静止画を表示する場合

表示したい静止画をタップ

拡大画面が表示されます。

動画を再生する場合

再生したい動画をタップ▶画面をタップしてアイコンを表示▶[▶]をタップ

起動したいアプリをタップすると、動画の再生が始まります。

■ピクチャジャンプを利用する

全ファイル一覧画面でファイルをロングタッチ、または拡大画面で表示中の画像をロングタッチすると、ピクチャジャンプを利用できます。画面の端に表示されるアイコンにファイルをドラッグすることで、ピクメイトやDLNA機器へのアップロード、[お気に入り]に登録、ファイルの削除などができます。
ピクチャジャンプで利用する機能は[ピクチャジャンプ設定]（☞P.181）で変更できます。

- 複数のファイルを同時に利用する場合は、操作したいファイルをにドラッグしていきます。複数選択中のアイコンをロングタッチして、削除などの利用したい機能へドラッグします。タップすると、複数選択中のファイルを確認できます。

拡大画面の操作

- アイコンが表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。
- 静止画の場合は、ピンチアウト／ピンチインまたはダブルタップで拡大／縮小できます。

アイコン	説明
[▶]	動画を再生します。
／	[お気に入り]に登録、または[お気に入り]から解除できます。
／	☞P.181[位置情報]
	ファイルのタイトルなどを表示します。
	全ファイル一覧画面に戻ります。

拡大画面のメニュー

1 拡大画面▶[メニュー]▶以下の操作を行う

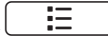
<table>
<tr><td colspan="2">共有</td><td>ピクメイトやYouTubeへのアップロード、Bluetooth通信やGmailでの送信などができます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">削除</td><td>データを削除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">位置情報※1</td><td>付加</td><td>位置情報を付加します。</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>位置情報を削除します。</td></tr>
<tr><td>地図で表示</td><td>付加されている位置情報の場所を地図上に表示します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">画像編集</td><td>静止画や動画を編集します。
• 静止画や動画の編集が可能なアプリケーションのインストールが必要です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">画像設定</td><td>電話帳の画像またはホーム画面の壁紙に設定します。
• 動画の場合は、壁紙などに設定可能なアプリケーションのインストールが必要です。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">その他</td><td>フリーワード設定※1</td><td>データにフリーワードタグを付けます。</td></tr>
<tr><td>スライドショー</td><td>スライドショーの設定を行い、表示中のデータからスライドショーを開始します。</td></tr>
<tr><td>ピクチャジャンプ設定</td><td>ピクチャジャンプで利用する機能を設定します。</td></tr>
</table>

※1 静止画のみ

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを起動してUSBストレージに保存した音楽や動画を再生できます。

- パソコンから音楽データや動画データをコピーする方法については☞P.171

■再生できるファイル

対応するファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式（拡張子）
3gp、mp4、m4a、mp3、ogg、wav、webm

曲を再生する

1 **ホーム画面▶ ▶[メディアプレイヤー]**

曲一覧画面が表示されます。

- [全曲]／[アーティスト]／[アルバム]／[ムービー]／[ストア]をタップしてタブを切り替えることができます。タブを変更するには ▶[設定]▶[アイコンの並べ替え]をタップします。

2 **再生したい曲をタップ**

再生画面が表示され、再生が始まります。

：曲一覧画面を表示

：タップするたびに全曲リピート→1曲リピート→リピート解除

：タップするたびにシャッフル／シャッフル解除

／ ：曲の先頭／次の曲にスキップ

／ ：一時停止／再生

曲を着信音に設定する

1 **曲一覧画面▶ ▶[設定]▶[着信音設定]**

2 **着信音の種類をタップ▶設定したい曲をタップ▶[決定]▶[設定]**

プレイリストを作成する

プレイリストを利用するには、[アイコンの並べ替え]で[プレイリスト]タブを表示するように設定してください。

1 **曲一覧画面▶[プレイリスト]タブ▶[作成]**

- プレイリストの名前を変更するには、プレイリスト名をタップします。

2 **[プレイリストに曲を追加]▶追加したい曲をタップ▶[決定]▶[完了]▶[OK]**

プレイリストの曲を編集する

1 **曲一覧画面▶[プレイリスト]タブ▶編集したいプレイリストをタップ▶[編集]**

2 **曲を並べ替える場合**
をドラッグして並び替える
曲の登録を解除する場合
登録を解除したい曲をタップ

3 **[完了]▶[OK]**

プレイリストを削除する

1 **曲一覧画面▶[プレイリスト]タブ▶[編集]▶削除したいプレイリストをタップ▶[完了]▶[OK]**

- [最近追加した曲]・[最近再生した曲]・[再生回数が多い曲]プレイリストは削除できません。

Androidマーケット

Androidマーケットで便利なアプリケーションや楽しいゲームを探して、本端末にインストールすることができます。

- あらかじめGoogleアカウント（☞P.79）を設定してください。

1 ホーム画面▶ ▶[マーケット]

- 初回起動時は利用規約を読み、[同意する]をタップします。

2 アプリケーションを検索してインストール

- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。アプリケーションをインストールすると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。
- 有料アプリケーションの支払いにはGoogle Checkoutを利用します。アプリケーションのダウンロード後、規定の時間以内であれば、返品して全額払い戻しを受けることができます（各アプリケーションにつき1回のみ）。アプリケーション購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Androidマーケットの画面で ▶[ヘルプ]をご覧ください。

お知らせ

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる場合があります。また、音量が変わる場合がありますのでご注意ください。
- 万が一、お客様がインストールしたアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がインストールしたアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- Androidマーケットからのアプリケーションの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

Googleマップ

Googleマップで現在地を確認したり、場所や経路を検索したりできます。

- Googleマップを利用するには、3G／GPRSネットワークでデータ通信可能な状態にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- 現在地とセキュリティの設定で、無線ネットワークでの現在地検索およびGPS機能を有効にしてください（☞P.122）。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

Googleマップを開く

1 ホーム画面▶ ▶[マップ]

地図が表示されます。

- [現在地機能を改善]が表示された場合は、[設定]をタップして無線ネットワークでの現在地検索およびGPS機能を有効にしてください（☞P.122）。
- 画面上部の検索ボックスにキーワードを入力して検索すると、地図上に赤丸または吹き出しが表示されます。赤丸をタップすると吹き出しが表示されます。吹き出しをタップすると、詳細情報やオプションが表示されます。
- をタップすると、現在地が地図上に青い矢印の点滅で表示されます。
- ▶[プレイス]をタップしてプレイスを起動すると、近くにあるレストラン、観光スポット、ATM、ガソリンスタンドなどを見つけることができます。ただし距離や評価、営業時間によるフィルタリング機能は、正しく動作しない場合があります。
- をタップすると、渋滞状況や航空写真などのレイヤを選択して表示できます。ただし渋滞状況と路線図は、提供地域が限定されています。
- 2本の指で平行線を描くように画面を上下になぞると、地図が傾斜します。
- 地図上の地点をロングタッチ▶吹き出しをタップ▶ をタップすると、ストリートビューを表示できます。

目的地までの経路を検索する

1 地図表示中▶［☰］▶[経路]

- ホーム画面▶◉▶[ナビ]をタップしてGoogleマップナビ（ベータ版）を起動すると、現在地を出発地にした経路検索が簡単に利用できます。

2 出発地と到着地を入力

- ▣をタップして連絡先や地図上の場所を指定できます。

3 ［🚗］（自動車）／［🚌］（公共交通機関）／［🚶］（徒歩）▶[経路を検索]

Latitudeで友人の居場所を確認する

- あらかじめGoogleアカウント（☞P.79）を設定してください。
- 友人と位置情報を共有するには、Latitudeに参加して友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

1 地図表示中▶◈▶[Latitudeに参加]／[Latitude]

- ホーム画面▶◉▶[Latitude]をタップして操作することもできます。
- Latitudeについて詳しくは、地図表示中に［☰］▶[ヘルプ]をタップしてLatitudeのヘルプをご覧ください。

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。
さらに、読み取り機に本端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、紛失時の対策として、おサイフケータイの機能をロックすることができるので、安心してご利用いただけます。
おサイフケータイの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

※ おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリケーションでの設定が必要です。

- 本端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなどを含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 端末の盗難・紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。
- 充電中は、iC通信によるデータ送信はできません。
- 電池が切れたあとにおサイフケータイを利用するには、一度電源を入れるか電池を充電する必要があります。

iCお引っこしサービス

iCお引っこしサービスは、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができるサービスです。
iCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなどでご利用いただけます。
iCお引っこしサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

おサイフケータイを利用する

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトよりおサイフケータイ対応のアプリケーションをダウンロード後、設定を行ってください。なお、サービスによりおサイフケータイ対応のアプリケーションのダウンロードが不要なものもあります。

1 ホーム画面▶ ▶[おサイフケータイ]

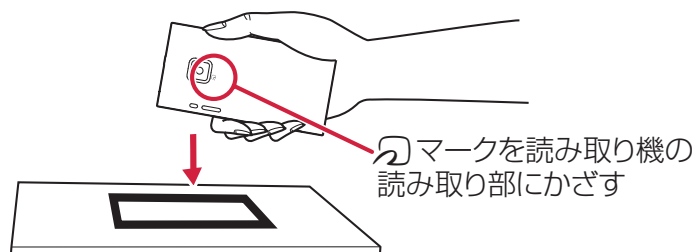
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。

2 利用したいサービスをタップ

読み取り機にかざす

本端末の マークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりなどとしてご利用できます。この機能は、ソフトを起動せずにご利用いただけます。

- 読み取り機にかざすときは次のことに注意してください。
  - 端末を読み取り機にぶつけない
  - マークと読み取り機を平行にかざす
  - マークはできるだけ読み取り機の中心位置にかざす
  - 読み取り機に認識されないときは、 マークを前後左右にずらしてかざす
  - マーク面に金属物などをつけない

1 マークを読み取り機にかざす

おサイフケータイ ロックを設定する

他人に無断でおサイフケータイの機能を使用されるのを防ぐために、おサイフケータイやトルカ取得などを使用できないようにします。

- おサイフケータイ ロックを解除するには、同様の操作を行います。

1 ホーム画面▶ ▶[おサイフケータイ]

2 ▶[おサイフケータイ ロック設定]▶[おサイフケータイ ロック]

3 端末パスワードを入力▶[OK]▶[OK]

トルカ

トルカとは、ケータイに取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、読み取り機やサイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリに保存され、「トルカ」アプリを利用して表示、検索、更新ができます。
トルカの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

- 初回起動時はソフトウェア利用許諾契約書を読み、[同意する]をタップします。

お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  読み取り機からの取得／更新／トルカの共有／外部メモリへの移動、コピー／地図表示
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでもトルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- おサイフケータイ ロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。
- [重複チェック]にチェックを付けている場合、同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したい場合は、チェックを外してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

YouTube

YouTubeはGoogleのオンライン動画ストリーミングサービスです。動画再生や投稿などができます。

1 **ホーム画面▶ ▶[YouTube]**

2 **動画を再生する場合**

再生したい動画をタップ

- 画面をタップすると一時停止／再開します。
- 横画面表示ではスライダーをドラッグして再生位置を指定できます。
- [HQ]をタップして高画質（HQ）再生のON／OFFを切り替えます。

動画を投稿する場合

▶[アップロード]▶動画を選択▶必要な項目を入力▶[アップロード]

- をタップすると、動画を撮影して投稿できます。

時計

本端末を卓上時計として使用できます。

1 ホーム画面▶ ▶[時計]

時計画面が表示されます。
：画面を暗くします。元の明るさに戻すには、画面をタップします。
：アラーム画面を表示します。
：静止画を表示（スライドショーを開始）します。
：メディアプレイヤーまたは音楽を起動します。
：ホーム画面を表示します。

- ニュースと天気で現在地情報や位置情報の設定を行っている場合は、天気予報が表示されます。天気予報をタップすると、ニュースと天気が起動します。
- スリープモードにならないまま無操作の状態で数分たつとスクリーンセーバーモードになり、日付と時刻のみが表示されます。画面をタップすると時計画面に戻ります。

アラームを設定する

1 時計画面▶

アラーム画面が表示されます。

2 [アラームの設定]▶アラーム時刻を設定

3 必要に応じてその他の項目を設定

4 [完了]

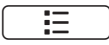
アラームを停止／スヌーズを設定する

アラーム通知画面で[停止]をタップすると、アラームが止まります。[スヌーズ]をタップすると、一定時間後に再びアラームが鳴ります。スヌーズを解除するには、通知パネルを開いて[アラーム（スヌーズ）]をタップします。

アラームの詳細設定

1 アラーム画面▶ [メニュー] ▶[設定]▶以下の操作を行う

マナーモード中のアラーム	チェックを付けると、マナーモード中でもアラームが鳴ります。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
スヌーズ間隔	アラーム通知画面でスヌーズを設定した場合に、次にアラームが鳴るまでの時間を設定します。
サイドボタンの動作	アラームが鳴っているときに[▲]／[▼]を押したときの動作（なし／スヌーズ／解除）を設定します。

カレンダー

本端末のカレンダーと、Googleなどオンラインサービスのカレンダーを同期させて、スケジュールを管理できます。

- あらかじめGoogleアカウント（☞P.79）を設定してください。

カレンダーを表示する

1 ホーム画面▶ ▶[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

- ▶[日]／[週]／[月]／[予定リスト]をタップして、表示形式を切り替えます。

同期／表示するカレンダーを設定する

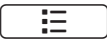
Googleなどのオンラインサービスで複数のカレンダーを使用している場合は、本端末と同期するカレンダーおよび本端末で表示するカレンダーを設定します。

1 カレンダー画面▶ ▶[その他]▶[カレンダー]▶アカウントを選択

2 各カレンダーをタップして設定

：同期する・表示する
：同期する・非表示
：同期しない・非表示

3 [OK]

予定の詳細を表示する

1 カレンダー画面▶予定をタップ

- 月表示の場合は、予定のある日をタップしてから予定をタップします。

予定を登録する

1 **カレンダー画面▶ ☰ ▶[その他]▶[予定を作成]**

2 **タイトル、日時、場所、内容などを入力**

- 複数のカレンダーを設定している場合は、登録するカレンダーを選択します。
- ⊕をタップすると通知を増やすことができます。
- ☰ ▶[詳細項目を表示]をタップして、追加の項目を入力できます。
- [ゲスト]欄にメールアドレスを入力し、予定に参加してもらいたい人に招待状を送付できます。

3 **[完了]**

予定が通知されたら

ステータスバーに 1 が表示されたら、以下の操作で通知を解除／スヌーズを設定します。

1 **通知パネルを開いて通知をタップ**

- 予定をタップして詳細を表示すると、通知が解除されます。

2 **以下の操作を行う**

すべてスヌーズ	すべての予定の通知を5分間スヌーズします。
通知を消去	すべての予定の通知を解除します。

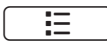
カレンダーの設定を変更する

1 カレンダー画面▶ [メニューアイコン] ▶[その他]▶[設定]▶以下の操作を行う

辞退した予定を非表示	参加を辞退した予定を非表示にします。
自宅タイムゾーン	チェックを付けると、ローミング中もホームのタイムゾーンでカレンダーの時刻を表示します。
自宅タイムゾーン	[自宅タイムゾーン]にチェックを付けている場合に、自宅のある地域のタイムゾーンを指定します。
通知方法	[アラート]を選択すると、通知時にステータスバーに[1]が表示されると同時に通知画面が表示されます。[OFF]を選択すると通知を行いません。
着信音を選択	通知時に鳴らす音を設定します。
バイブレーション	通知時にバイブレーションを常にON／OFFにするか、またはマナーモード設定中のみONにするかを設定します。
デフォルトの通知時間	予定開始時刻の何分／時間／日前に通知するかを設定します。
ビルドバージョン	カレンダーのバージョンが表示されています。

メモ

メモを作成する

1 ホーム画面▶[icon]▶[メモ]

メモ一覧画面が表示されます。

2 [新規作成]▶必要な項目を入力▶[保存]

- メモ一覧画面でメモをタップすると、メモの詳細を確認できます。ロングタッチすると、メモの編集などができます。

電卓

1 ホーム画面▶ ▶[電卓]

2 画面上部の数式欄に数式を入力▶[＝]

- ボタン表示部を左右にフリックするか、 ▶[関数機能]／[標準機能]をタップして、関数画面／基本演算画面を切り替えます。
- 数式欄をロングタッチすると、数式のコピー／貼り付けができます。
- [CLEAR]をタップして入力した文字を消去します。[CLEAR]をロングタッチすると、数式全体が消去されます。

エコナビ

エコナビを利用して電池の消費を抑えることができるecoモードの設定を管理できます。
エコナビを[オートeco]に設定していると、設定した電池残量を下回ると自動でecoモードに切り替わります。また、常時ecoモードに設定することもできます。

ecoモードの設定

1 **ホーム画面▶ ▶[エコナビ]**

2 **[詳細設定画面へ]▶以下の操作を行う**

オートecoモード設定	ecoモードに切り替わる電池残量を設定します。 [常時OFF]に設定すると、ecoモードに切り替わりません。 [常時ON]に設定すると、電池残量にかかわらず常にecoモードになります。
ecoモード運転時の設定	ecoモード中の各種機能の動作を設定します。

3 **[OK]**

お知らせ

- [Wi-Fiのスリープ設定]を[スリープにしない]に設定している場合は、[ecoモード運転時の設定]の[Wi-Fi]にチェックを付けていても、Wi-Fiの切断が行われないため、Wi-Fiは無効になりません（☞P.86）。

ecoモードに切り替える

1 **ホーム画面▶ ▶[エコナビ]**

2 **[ON]**

パーソナルプロテクト

パーソナルプロテクトでは他人に見られたくないファイルを通常では表示されないセキュリティボックスに入れておくことができます。また、他人に見られたくないEメールのアカウントをセキュリティアカウントとして登録できます。
パーソナルプロテクトは本端末が[セキュリティ]でロックされている場合に利用できます。

- セキュリティボックスに格納できるファイルは、静止画、動画、Officeドキュメント、PDFファイルです。

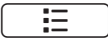
パーソナルプロテクトのロックを解除する

1 ホーム画面▶ ▶[パーソナルプロテクト]

- [セキュリティ]でロックされていない場合は、確認画面で[さっそく設定]をタップしてセキュリティを設定してください。

2 [セキュリティ]で設定した解除方法を行う

お知らせ

- パーソナルプロテクトのロックを解除していても、スリープモードになるとパーソナルプロテクトはロックされます。

セキュリティボックスへファイルを格納する

セキュリティボックスに格納されたファイルは、パーソナルプロテクトのロックが解除されているときだけ表示されます。

1 各アプリケーションを起動▶格納したいファイルを選択▶ ☰ ▶[共有]▶[セキュリティボックス]

- アプリケーションによっては、送信／共有のメニューが異なる場合があります。

2 [格納する]

- パーソナルプロテクトのロックが解除されていない場合は、[セキュリティ]で設定した解除方法を行います。
- セキュリティボックス内のファイルを取り出す場合は、パーソナルプロテクトのロックが解除されている状態で取り出したいファイルを選択▶ ☰ ▶[共有]▶[セキュリティボックス]▶[取り出す]をタップします。

■セキュリティボックスの格納容量について

セキュリティボックスに格納できる容量には上限があり、残容量が不足していると格納できません。また、残容量が少なくなると、パーソナルプロテクトを起動する際に、警告画面が表示されます。容量が上限になると、Eメールが起動できなくなりますので、上限になる前に削除や移動を行って容量を確保してください。

- パーソナルプロテクトのロック解除後の起動画面から[削除]をタップし、削除したい種類をタップすると、セキュリティボックス内のファイルを一括で削除できます。

セキュリティアカウントを登録する

セキュリティアカウントを登録すると、パーソナルプロテクトのロックを解除した際に自動でEメールのアカウントが切り替わります。

1 ホーム画面▶ ▶[パーソナルプロテクト]

2 [セキュリティEメール]

- パーソナルプロテクトのロックが解除されていない場合は、[セキュリティ]で設定した解除方法を行います。

3 メールアドレスとパスワードを入力▶[次へ]

4 画面に従って操作する

お知らせ

- セキュリティアカウントを登録していない状態で、パーソナルプロテクトのロックを解除した場合は、アカウントが無い状態になります。また、ロック解除前に登録していたアカウントは見えなくなります。
- セキュリティアカウントのメールを受信しても、パーソナルプロテクトのロックを解除していない場合は通知されません。

パーソナルプロテクトをロックする

1 ホーム画面▶ ▶[パーソナルプロテクト]

2 [ロックする]

スマートアーチ

Bluetooth通信とWi-Fi通信を利用して、連携機能に対応しているノートパソコン「レッツノート」と本端末の間でファイルをコピーしたり、ノートパソコンの画面を表示したりできます。

- 使用できるノートパソコンなど、最新の動作確認情報については下記サイト内の記載をご覧ください。
  http://panasonic.jp/mobile/
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

連携先PC設定

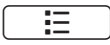
[スマートアーチ]を利用するには、連携機能に対応しているノートパソコンを連携先として設定する必要があります。

1 ホーム画面▶ ▶[スマートアーチ]

- [連携先PC設定]を設定している場合は☞P.205「ノートパソコンと連携して利用する」手順2

2 [OK]

3 [連携先PC設定]▶画面に従って操作する

- [自動削除設定]を設定すると、ノートパソコンから本端末にコピーしたファイルを指定の曜日／時間に自動で削除できます。

お知らせ

- [自動削除設定]を設定している場合、指定の曜日／時間になると、本端末のコピー先のフォルダ内にあるファイルはすべて削除されます。

ノートパソコンと連携して利用する

1 ホーム画面▶ ▶[スマートアーチ]

2 以下の操作を行う

- ▶[スマートアーチ設定]をタップすると、連携先のノートパソコンを再度設定できます。

リモートデスクトップ	連携先のノートパソコンの画面を本端末で表示し、操作できます。
ファイル送受信	ノートパソコンの指定フォルダと本端末の間でファイルを送受信します。
ドキュメントビューア	Officeドキュメントの表示が可能なアプリを起動します。
ファイル削除	ノートパソコンから本端末内へのコピー先フォルダ内のファイルを削除します。

バーコードリーダー

カメラを使ってQRコードやJANコードを読み取り、読み取った文字の内容に応じて電話発信やメール送信、電話帳登録、ウェブサイト表示などができます。また、連絡先のQRコードを作成することもできます。

- QRコードのバージョン、種類やサイズによっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射によっては読み取れない場合があります。

■ QRコードとJANコードについて

QRコード	縦・横方向でデータを表現している2次元コードです。 本端末では最大16個の連結QRコードを読み取ることができます。	例）読み取れる情報： 株式会社NTTドコモ
JANコード	幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。 本端末では8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のJANコードを読み取ることができます。	4 942857 112597 例）読み取れる情報： 4942857112597

QRコード／JANコードを読み取る

1 ホーム画面▶ ▶[バーコードリーダー]

撮影画面が表示されます。
：メニューを表示
：履歴画面を表示
／ ：読み取りを中断／再読み取り
：バーコードリーダーを終了

2 撮影画面にQRコード／JANコードを表示

読取結果画面が表示されます。

3 読み取った文字をタップ

文字の内容に対応するメニューが表示されます。
- タイトルバーを左右にフリックして、全文表示画面／読取結果画面を切り替えます。
- をタップすると、撮影画面に戻ります。
- 各画面の操作については、 ▶[ヘルプ]をタップして表示される機能説明を参照してください。

お知らせ

- 読取結果画面▶ ▶[共有する]をタップして、[Bluetooth]を選択しても、読み取った内容がURL情報でない場合、正しく共有されません。
- 共有先アプリケーションによっては、利用前にログインが必要な場合や、アプリケーション側の制約により正しく共有されない場合があります。

QRコードを作成する

マイプロフィールや連絡先からQRコードを作成し、他の端末で読み取ることができます。

1 ホーム画面▶ ▶[バーコードリーダー]

2 ▶[QRコードの作成]▶連絡先を選択

QRコードが表示されます。

- QRコード上部をタップして、QRコードの種類を変更できます。

3 表示されたQRコードを他の端末で読み取る

Polaris Office

OfficeドキュメントやPDFファイルなど、USBストレージに保存したパソコン向け文書を表示できます。

■表示できるファイル

- 搭載していないフォントを使用したドキュメントはフォントを置換して表示するため、正しく表示されない場合があります。
- 対応するファイルであっても表示できない場合があります。

ファイルの種類
Wordファイル （Microsoft Word 97、2003、2007、2010）
Excelファイル （Microsoft Excel 97、2003、2007、2010）
PowerPointファイル （Microsoft PowerPoint 97、2003、2007、2010）
PDFファイル （Adobe PDF 1.2～1.7）
テキストファイル （シフトJIS、UTF-8）

ドキュメントを表示する

1 ホーム画面▶ ▶[Polaris Office]

- ユーザー登録画面が表示された場合はユーザー登録を行うか、[スキップ]をタップします。

2 目的のフォルダから、表示したいドキュメントをタップ

- ピンチアウト／ピンチインで拡大／縮小できます。

お知らせ

- フォルダやドキュメントの選択画面▶ ☰ ▶[新規]をタップすると、Wordファイル／Excelファイル／PowerPointファイルを新規作成できます。
- Wordファイル／Excelファイル／PowerPointファイルを表示▶ ☰ ▶[編集モード]をタップすると、ドキュメントを編集できます。
- 本アプリが対応していない機能は、正しく保存されない場合があります。
- 送信先アプリケーションによっては、利用前にログインが必要な場合や、アプリケーション側の制約により正しく受け取れない場合があります。

iD設定アプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じて使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iD設定アプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイト（http://id-credit.com/）をご覧ください。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。電話、メッセージ（SMS）は設定の変更なくご利用になれます。

- 対応エリアについて
  本端末は3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの「国際サービスホームページ」

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国･地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

（○：利用可能　×：利用不可）

主な通信サービス	3G	GSM／GPRS	GSM
電話	○	○	○
メッセージ（SMS）	○	○	○
メール※1	○	○	×
ブラウザ※1	○	○	×
GPSの現在地確認※2	○	○	×

※1 ローミング時にデータ通信を利用するには、[データローミング]にチェックを付けてください（☞P.218）。

※2 GPS測位（現在地確認）を行うとパケット通信料がかかります。

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は「総合お問い合わせ先」（☞P.273）までお問い合わせください。

料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。
- ご利用のアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。 渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

[通信事業者]の設定で[利用可能なネットワーク]を[自動選択]に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します（☞P.217）。
[利用可能なネットワーク]を手動で定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が1日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用にはパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ディスプレイの表示について

- ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。
  ：ローミング中
  ／：GPRS使用可能／通信中
  ／：EDGE使用可能／通信中
  ／：3G（パケット）使用可能／通信中
- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

日付と時刻について

[日付と時刻]を[自動]に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- ☞P.141「日付と時刻」

お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、「海外での紛失、盗難、精算などについて」（☞P.272）をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、滞在先で利用可能な通信事業者のネットワークを自動的に検出して接続するように設定されていますが、手動で設定を変更できます。

ネットワークモードを設定する

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[無線とネットワーク]**

2 **[モバイルネットワーク]▶[ネットワークモード]▶以下の操作を行う**

WCDMAのみ	3Gネットワークを利用します。
GSMのみ	GSMネットワークを利用します。
GSM／WCDMA	利用できるネットワークに自動的に切り替えます。

接続する通信事業者を設定する

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[無線とネットワーク]**

2 **[モバイルネットワーク]▶[通信事業者]**

ネットワークの検索が行われ、利用可能なネットワーク画面に通信事業者の一覧が表示されます。

- [ネットワークを検索]をタップすると、再検索できます。
- ネットワークの検索でエラーが発生する場合は、[データ通信を有効にする]（☞P.113）のチェックを外して再度実行してください。

3 **接続したい通信事業者をタップ**

- 接続する通信事業者を自動で設定する場合は、[自動選択]をタップします。

お知らせ

- 滞在先で通信事業者を手動で設定した場合は、日本帰国後に利用可能なネットワークを[自動選択]に設定してください。

データローミングを設定する

1 ホーム画面▶ [メニュー] ▶[本体設定]▶[無線とネットワーク]

2 [モバイルネットワーク]▶[データローミング]にチェックを付ける▶[OK]

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 **ホーム画面▶ ▶[電話]**

2 **[ダイヤル]タブ▶＋（[0]をロングタッチ）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号の順に入力**

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内外にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。
- 「＋」や国番号を入力せずに、 ▶[国際電話発信]をタップすると国番号や国際プレフィックスを選択して発信できます。

3

- [国際ダイヤルアシスト]（☞P.221）で[自動変換機能]にチェックを付けている場合は、「0」で始まる地域番号（市外局番）から入力して発信できます。

滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 **ホーム画面▶ ▶[電話]**

2 **[ダイヤル]タブ▶地域番号（市外局番）を含む電話番号を入力**

- 電話をかける相手が「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、国番号として「81」（日本）を入力してください。

3

- [国際ダイヤルアシスト]（☞P.221）で[自動変換機能]にチェックを付けている場合は、[元の番号で発信]をタップします。

滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。
発信国の国際アクセス番号-81-90（または80）-XXXX-XXXX

国際ローミング時の設定を行う

1 ホーム画面▶ ▶[本体設定]▶[通話設定]

2 [海外設定]▶以下の操作を行う

<table>
<tr><td colspan="2">ローミング時着信規制</td><td>ローミング中に着信を受け付けないように設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ローミング着信通知</td><td>ローミング中に、電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、かかってきた電話に応答できなかったときに、その着信の情報をメッセージ（SMS）にてお知らせします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ローミングガイダンス</td><td>ローミング中に電話がかかってきたときに、相手にローミング中であることを通知するガイダンスを流します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">国際ダイヤルアシスト</td><td>[自動変換機能]にチェックをつけると、国際電話の発信時に国番号や国際プレフィックスを付加して発信できます。また、国番号や国際プレフィックスの追加／編集／削除もできます。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">ネットワークサービス</td><td>遠隔操作（有料）</td><td rowspan="6">海外から留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。
• あらかじめ「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。
• 海外から操作した場合は、利用した国の日本向け通話料がかかります。
• 海外通信事業者によっては、設定できないことがあります。</td></tr>
<tr><td>番号通知お願いサービス（有料）</td></tr>
<tr><td>ローミング着信通知（有料）</td></tr>
<tr><td>ローミングガイダンス（有料）</td></tr>
<tr><td>留守番電話サービス（有料）</td></tr>
<tr><td>転送でんわサービス（有料）</td></tr>
</table>

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- [ネットワークモード]を[GSM／WCDMA]に設定してください（☞P.217）。
- [通信事業者]の設定で[利用可能なネットワーク]を[自動選択]に設定してください（☞P.217）。

付録

オプション品・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。
なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプション品の詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- ACアダプタケーブル P01※1
- ACアダプタ 03※1
- microUSB接続ケーブル 01
- DCアダプタ 03
- FOMA 補助充電アダプタ 02※2
- ポケットチャージャー 01/02
- 海外用AC変換プラグCタイプ 01
- キャリングケース 02
- 車内ホルダ 01
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- 骨伝導レシーバマイク 02
- ドライブネットクレイドル 01

※1 ACアダプタでの充電方法については☞P.42

※2 microUSBケーブルを接続してご利用ください。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（☞P.235）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、「故障お問い合わせ先」（☞P.273）または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェックする箇所
端末の電源が入らない	• 電池切れになっていませんか（☞P.42）。

■ 充電

症状	チェックする箇所
充電ができない（充電ランプが点灯しない、またはステータスバーに温度異常／充電異常アイコンが表示される）	• アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか（☞P.43）。 • 付属のmicroUSBケーブルが、本端末またはACアダプタと正しく接続されていますか（☞P.43）。 • 本端末とパソコンを付属のmicroUSBケーブルで接続している場合、パソコンの電源が入っていますか（☞P.44）。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、端末の温度が上昇してステータスバーに温度異常アイコンが表示される場合があります。その場合は、端末を一度アダプタから外して、端末の温度が下がってから再度充電を開始してください。温度異常アイコンが表示されたときは、通知パネルを開いて表示された機能が使用できません。 • ステータスバーに充電異常アイコンが表示されたときは、通知パネルを開き、対処方法に従って操作してください。

■端末操作

症状	チェックする箇所
操作中・充電中に熱くなる	● 操作中や充電中、また、充電しながらアプリケーション（ゲーム）などを長時間行った場合などには、端末やACアダプタケーブルが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください（☞P.21、P.22）。
電池の使用時間が短い	● 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています（☞P.247）。 ● 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります（☞P.247）。 ● 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください（☞P.273）。
タッチパネルをタップしたとき／ボタンを押したときに動作しない	● スリープモードになっていませんか。 ⏻を押すか⌂をロングタッチしてスリープモードを解除してください（☞P.45）。 ● 電源を入れ直してください（☞P.45）。
タッチパネルをタップしたとき／ボタンを押したときの画面の反応が遅い	● 内部ストレージに大量のデータが保存されているときや、内部ストレージとUSBストレージの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
ドコモminiUIMカードが認識しない	● ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか（☞P.37）。
時計がずれる	● 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 日付と時刻の[自動]にチェックが付いているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください（☞P.141）。

症状	チェックする箇所
端末動作が不安定	● ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 ● セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から⏻を2秒以上押し、「docomo NEXT series」のロゴが表示されたときからホーム画面が表示されるまで[☰]をロングタッチし続けてください。 ※セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。 ※セーフモードを終了するには、電源を1度OFFにし起動し直してください。 ● 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ● お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 ● セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。
端末が応答しない、または電源が入らない	● 外部接続端子にアダプタなどを接続していない状態で、⏻を20秒以上押し、電源が切れるか端末が再起動するまで押し続けてください。電源が切れた場合は、再度電源を入れてください。 ● 一度充電をしてから電源を入れ直してください。

■通話

症状	チェックする箇所
📞をタップしても発信できない	● 発信番号制限を設定していませんか（☞P.117）。 ● 機内モードになっていませんか（☞P.112）。
着信音が鳴らない	● 着信音量をサイレントにしていませんか（☞P.120）。 ● マナーモードを設定していませんか（☞P.92）。 ● 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか（☞P.103、P.105）。
通話ができない（場所を移動しても圏外の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	● 電源を入れ直すか、ドコモminiUIMカードを取り付け直してください（☞P.37、P.45）。 ● 電波の性質により、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態（ ）でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 ● 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は[発信制限が設定されています]と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■画面

症状	チェックする箇所
ディスプレイが暗い	● 画面の明るさを変更していませんか（☞P.121）。 ● エコナビを設定していませんか（☞P.200）。

■音声

症状	チェックする箇所
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	● 通話音量を変更していませんか（☞P.93）。

■メール

症状	チェックする箇所
メールを自動で受信しない	• メールのアカウント設定で受信トレイの確認頻度を[自動確認しない]に設定していませんか（☞P.149）。

■カメラ

症状	チェックする箇所
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください（☞P.173）。 • 人物を撮影するときは、フォーカス設定を[顔認識]に設定するか、撮影モードを[シーン]の[人物]に設定してください（☞P.176）。 • [手ブレ防止シャッター]を使って撮影してください（☞P.175）。

■おサイフケータイ

症状	チェックする箇所
おサイフケータイが使えない	• おサイフケータイ ロックを起動していませんか（☞P.190）。 • 本端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか（☞P.190）。

■海外利用

症状	チェックする箇所
海外で端末が使えない	●アンテナマークが表示されている場合 • WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。 ●圏外が表示されている場合 • 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。 • ネットワークモードや通信事業者を変更してみてください。 [ネットワークモード]を[GSM／WCDMA]に設定してください（☞P.217）。 [通信事業者]でサービスに対応している通信事業者を検索してください（☞P.217）。 • 端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直すことで回復する場合があります（☞P.45）。
海外でデータ通信ができない	• [データローミング]にチェックを付けてください（☞P.218）。
海外で利用中に、突然端末が使えなくなった	• 利用停止目安額を超えていませんか。 「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください（☞P.272）。
海外で電話がかかってこない	• [ローミング時着信規制]を「開始」に設定していませんか（☞P.221）。 • ネットワークモードを[GSM／WCDMA]以外に設定していませんか（☞P.217）。

症状	チェックする箇所
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

症状	チェックする箇所
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
画像表示しようとすると や が表示される、またはデモやプレビューで や が表示される	• 画像データが壊れている場合は や が表示される場合があります。

■ Bluetooth機能

症状	チェックする箇所
Bluetooth機器と接続ができない／検索しても見つからない	• Bluetooth機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth機器（市販品）と本端末の双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください（☞P.166）。
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください（☞P.45）。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
挿入されたSIMカードは、この携帯電話機では使用出来ません。 有効なSIMカードを挿入してください。	• 他事業者のSIMカードが挿入された場合に表示されます。
電池残量が不足しています 処理を開始できません	• 電池残量が少ない状態で[メモリバックアップ]を開始しようとしたときに表示されます。十分充電してから再度操作してください（☞P.42）。

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、microSDカードリーダライタケーブル（試供品）を利用して、電話帳のデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、「故障お問い合わせ先」（☞P.273）にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、「故障お問い合わせ先」（☞P.273）へお問い合わせください。

お願い

- 端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    ・ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
    ・接着剤などにより端末に装飾を施す
    ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末の底面に貼付されているバーコードシールは、はがさないでください。
- 各種機能の設定などの情報は、端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

P-04Dのソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページにてご案内させていただきます。
ソフトウェアを更新するには、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。
自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
即時更新：更新したいときすぐ更新を行います。
予約更新：アップデートパッケージをインストールする時刻を予約すると、予約した時刻に自動的にソフトウェアが更新されます。

お知らせ

- ソフトウェア更新は、端末に登録された電話帳の連絡先、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のP-04Dの状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新を行う際は、USBストレージの空き容量を十分に空けておいてください。空き容量が不足している旨のメッセージが表示された場合は、USBストレージのデータを削除してから再度実行してください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中・圏外にいるとき
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - Wi-Fiネットワークとの接続中
  - テザリングを有効にしているとき
  - OSバージョンアップ中
  - 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新に必要な空き容量が十分でないとき
  - ソフトウェア更新に必要なUSBストレージの空き容量が十分でないとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用することはできません（ダウンロード中は音声着信が可能です。ただし、音声着信時はダウンロードが中断されます）。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバー（当社のサイト）へSSL／TLS通信を行います。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に[更新の必要はありません。このままお使いください。]と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、[ローミング中もしくは圏外時は更新ができません。]と表示されます。
- ソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、[充電不足のため更新できません。フル充電をしてから再度更新を実行してください。]と表示されます。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたメッセージ（SMS）は、SMSセンターに保管されます。

- ソフトウェア更新の際、お客様のP-04D固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、[ソフトウェア更新に失敗しました。お手数ですが、お近くのショップへお持ちください。]と表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中にて、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

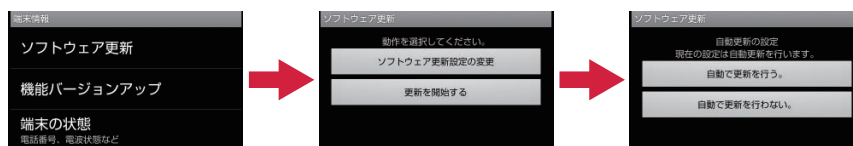
ソフトウェア更新を自動で行う（自動更新）

新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
お買い上げ時は、自動更新設定が[自動で更新を行う。]に設定されています。

書き換え可能な状態になるとステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示され、書き換え時刻の確認を行い、書き換え時刻の変更や今すぐ書き換えするかを選択できます。
（ソフトウェア更新有）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、（ソフトウェア更新有）は消去されます。
書き換え時刻になったとき、電池残量が不足していた場合や、音声通話中の場合はソフトウェア更新を開始せず、翌日の同時刻に再度ソフトウェア更新を行います。
自動更新設定が[自動で更新を行わない。]になっている場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

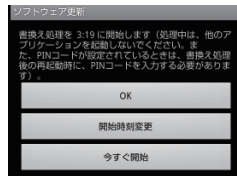
自動更新の設定

1 ホーム画面▶ ▶[本体設定]▶[端末情報]

2 [ソフトウェア更新]▶[ソフトウェア更新設定の変更]

3 ソフトウェア更新通知があったときの動作を選択

- 自動でソフトウェア更新をするとき：[自動で更新を行う。]
- 自動でソフトウェア更新をしないとき：[自動で更新を行わない。]

更新が必要な場合の動作

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示されます。

1 通知パネルを開く▶通知をタップ

- ソフトウェア更新が必要なときは、書き換え時刻が表示されます。

2 設定時刻に書き換えを行う場合

[OK]

- ホーム画面に戻ります。設定時刻になると書き換えを開始します。

書き換え時刻を変更する場合

[開始時刻変更]▶（☞P.242「時刻を予約してソフトウェアを更新する（予約更新）」手順1）

- アップデートパッケージのインストールを実行する時刻を設定します。

今すぐ書き換えを行う場合

[今すぐ開始]▶（☞P.241「すぐにソフトウェアを更新する」手順1）

- 書き換えを開始します。
- 書き換えが完了するとステータスバーに✔（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。
- ✔は、一度確認すると消去されます。

お知らせ

- 自動更新時刻にソフトウェア更新が起動できなかったときは、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示されます。

ソフトウェア更新を起動する（即時更新）

1 **ホーム画面▶ ▶[本体設定]▶[端末情報]**

2 **[ソフトウェア更新]▶[更新を開始する]▶[はい]**

- ダウンロードを開始すると、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは削除されます。

- ソフトウェア更新の必要がないときには、[更新の必要はありません。このままお使いください。]と表示されます。

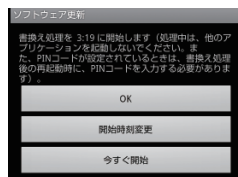
3 **[OK]**

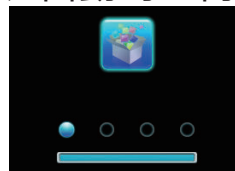
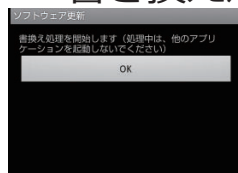
- 再起動後更新を開始します。
- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 更新中に数回自動的に再起動します。更新中に黒い画面が続く場合がありますが、書き換え処理は進んでおりますので処理が完了するまでそのままお待ちください。

4 **ホーム画面が表示**

- ステータスバーにが表示されます。は、一度確認すると消去されます。

すぐにソフトウェアを更新する

1 [今すぐ開始]

2 [書換え処理を開始します]が表示▶[OK]

- [書換え処理を開始します]の表示が約3秒経過すると、自動的に書き換えを開始します。
- 書き換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。書き換えを中止することもできません。
- 書き換えが終了すると、自動的に再起動します。

3 再起動後、自動的にソフトウェア更新が開始

- 更新中は、すべてのボタン操作が無効になります。更新を中止することもできません。
- 更新を終了すると、約5秒後に自動的に再起動します。

4 通知パネルを開く▶通知をタップ

- ソフトウェア更新を終了し、ホーム画面が表示されます。
- ステータスバーに更新が完了したことを表す✔（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。✔（ソフトウェア更新が完了しました。）は、一度確認すると消去されます。

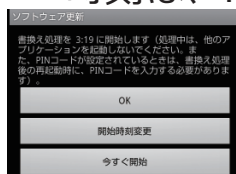
ソフトウェア更新終了後の表示について

ホーム画面のステータスバーに✓が表示されます。通知パネルを開くと、ソフトウェア更新が完了したことを示すメッセージが表示されます。

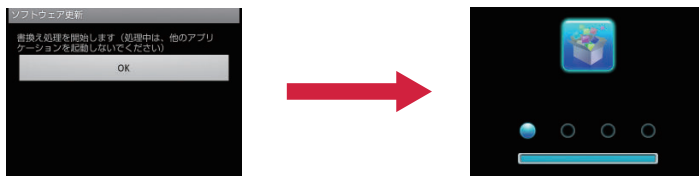
時刻を予約してソフトウェアを更新する（予約更新）

アップデートパッケージのインストールを別の時間に予約をしたい場合には、ソフトウェア更新を行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 [開始時刻変更]

- 書き換え開始時刻設定画面が表示されます。
- 時刻は、P-04Dの時刻に合わせて表示されます。

2 希望の時刻を入力▶[設定]

- 時刻を設定します。
- ［＋］／［－］をタップして更新時刻を変更し、[設定]をタップします。

予約した時刻になると

1 [書換え処理を開始します]が表示▶[OK]

- [書換え処理を開始します]の表示後約3秒経過すると、自動的にソフトウェア更新を開始します。
- ソフトウェア更新の予約した時刻には、電波の十分届くところでホーム画面を表示させておいてください。
- 予約した時刻にソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、翌日の同時刻にソフトウェア更新を行います。
- 予約した時刻にOSバージョンアップ中の場合、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていたときは、ソフトウェア更新が優先されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻になったときP-04Dの電源を切った状態の場合は、電源を入れたあと、予約時刻と同時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

機能バージョンアップソフトウェアを更新する

1 **ホーム画面▶［☰］▶[本体設定]▶[端末情報]**

2 **[機能バージョンアップ]▶[サーバーから更新]**

3 **[ソフトウェア更新]▶[はい]▶[はい]▶[今すぐ更新]**

更新ファイルがダウンロードされます。

- [予約登録]を選択した場合は、ダウンロード開始時刻を設定し、[はい]をタップします。

4 **通知パネルを開く▶通知をタップ**

5 **[今すぐ更新]**

端末が再起動し、書き換えを開始します。書き換え完了後、再度端末が再起動し、ステータスバーに⬇が表示されます。

- [あとで更新]を選択した場合は、更新する際に手順4～6を行います。

6 **通知パネルを開く▶書き換え結果を確認▶[OK]**

最新のソフトウェアを自動検索する

1 **ホーム画面▶［☰］▶[本体設定]▶[端末情報]**

2 **[機能バージョンアップ]▶[サーバーから更新]▶[設定]**

3 **[自動検索]にチェックを付ける▶[OK]**

お知らせ

- 自動検索には通信料がかかる場合があります。

USBストレージから更新する

- あらかじめ新しいソフトウェアをパナソニックのサイトから入手し、USBストレージの[Download]フォルダに保存してください。

1 **ホーム画面▶ [メニュー] ▶[本体設定]▶[端末情報]**

2 **[機能バージョンアップ]▶[USBストレージから更新]▶[OK]**

新しいソフトウェアをUSBストレージから検索します。

3 **[OK]**

端末が再起動し、書き換えを開始します。書き換え完了後、再度端末が再起動し、更新結果が表示されます。

4 **[OK]**

主な仕様

■本体

<table>
<tr><td colspan="2">品名</td><td>P-04D</td></tr>
<tr><td colspan="2">サイズ</td><td>高さ約123mm×幅約62mm×厚さ約7.8mm（最厚部約8.4mm）</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td>約103g</td></tr>
<tr><td colspan="2">メモリ</td><td>ROM 16GB
RAM 1024MB</td></tr>
<tr><td rowspan="2">連続待受時間</td><td>FOMA／3G</td><td>静止時（自動）：約350時間</td></tr>
<tr><td>GSM</td><td>静止時（自動）：約270時間</td></tr>
<tr><td rowspan="2">連続通話時間</td><td>FOMA／3G</td><td>約220分</td></tr>
<tr><td>GSM</td><td>約260分</td></tr>
<tr><td colspan="2">充電時間</td><td>ACアダプタ：約190分
DCアダプタ：約190分</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ディスプレイ</td><td>方式</td><td>有機EL 16,777,216色</td></tr>
<tr><td>サイズ</td><td>約4.3inch</td></tr>
<tr><td>ドット数</td><td>横540ドット×縦960ドット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">撮像素子</td><td>種類</td><td>CMOS</td></tr>
<tr><td>サイズ</td><td>1/4.0inch</td></tr>
<tr><td rowspan="3">カメラ</td><td>カメラ有効画素数</td><td>約820万画素</td></tr>
<tr><td>記録画素数（最大時）</td><td>約800万画素</td></tr>
<tr><td>デジタルズーム</td><td>静止画：最大約6.7倍
動画：最大約5.1倍</td></tr>
<tr><td>音楽再生</td><td>MP3ファイル</td><td>連続再生時間約1400分（バックグラウンド再生対応）</td></tr>
<tr><td colspan="2">無線LAN</td><td>IEEE802.11b/g/n (2.4GHz) 準拠</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Bluetooth機能</td><td>対応バージョン</td><td>Bluetooth標準規格Ver.2.1＋EDRに準拠※1</td></tr>
<tr><td>出力</td><td>Bluetooth標準規格Power Class 2</td></tr>
<tr><td>対応プロファイル※2</td><td>HFP、HSP、OPP、SPP、A2DP、AVRCP、PBAP</td></tr>
</table>

※1 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2 Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくても、メールやアプリなどの各種機能のご利用頻度が多い場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間とは、端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■内蔵電池

使用電池	Li-ion（リチウムイオン）電池
電圧	3.8V
容量	1150mAh

■ACアダプタケーブル

品名	ACアダプタケーブル P01
入力	AC100V～240V 0.14A　50/60Hz
出力	DC5.0V　1.0A
充電温度範囲	5℃～35℃
長さ	約1200mm（microUSBケーブル）

■ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPG	jpg
動画	3gp（QVGA/VGA）、MP4（QHD/HD）	3gp（QVGA/VGA）、mp4（QHD/HD）

■静止画の撮影枚数（目安）

お買い上げ時の保存可能枚数です。

解像度	USBストレージに保存できる撮影枚数※1
8M（3264×2448）	約7279枚
6Mワイド（3264×1836）	約9529枚
5M（2592×1944）	約11299枚
3.7Mワイド（2592×1456）	約13730枚
3M（2048×1536）	約15334枚
2Mワイド（1920×1080）	約15334枚
QHD（960×540）	約71923枚
VGA（640×480）	約71923枚

※1 画質設定：ノーマル

■動画の撮影時間（目安）

お買い上げ時の録画可能時間です。

解像度	USBストレージに保存できる撮影時間※1
HD（1280×720）	約396分
QHD（960×540）	約694分
VGA（640×480）	約1368分
QVGA（320×240）	約17042分

※1 画質設定：ノーマル

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種P-04Dの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.481W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ
http://panasonic.jp/mobile/support/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

European RF Exposure Information

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* values, when tested for compliance against the standard were 0.457 W/kg for head configuration and 0.592 W/kg for body worn configuration.**
While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet* the EU requirements for RF exposure.**

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. This mobile phone meets the RF exposure guidelines for body worn operation when positioned at least 1.0 cm from the body. Accessories used for body worn operation must not contain metal and should position the mobile phone at least the distance stated above. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Declaration of Conformity

CE0168ⓘ

The product "P-04D" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://panasonic.net/pmc/support/index.html.

Concerning European Economic Area: The use of Wi-Fi is restricted to only indoor use in France.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
  Operation is subject to the following two conditions:
  1. This device may not cause harmful interference, and
  2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. government's requirements for exposure to radio waves.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in various positions and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.552 W/kg, and when worn on the body in a holster or carry case, is 1.030 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this

model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at
http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID UCE211046A.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Important Safety Information

Aircraft
Switch off your mobile phone when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your mobile phone offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

Driving
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of mobile phones while driving must be observed.

Hospitals
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

Petrol Stations
Obey all posted signs with respect to the use of mobile phones or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your mobile phone whenever you are instructed to do so by authorized staff.

Interference
Care must be taken when using the mobile phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 22 cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the mobile phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some mobile phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

Other Medical Devices
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your mobile phone may interfere with the operation of your medical device.

Accessories
With your mobile phone, use the adapters specified by NTT DOCOMO, INC. Fire, burns, injury or electric shock may result.
Batteries
Do not dispose of the mobile phone with other waste. The internal battery may catch fire or damage the environment. Take the unneeded mobile phone to a handling counter such as a docomo Shop or dispose of it in accordance with local waste disposal regulations.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また、米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得もしくは本製品に搭載された文章、画像、映像、音楽、ソフトウェアなどの著作物は著作権法により保護されています。従って、第三者が著作権を有する著作物は、私的使用目的の複製や引用など著作権法上で認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信、転用、頒布などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様は別途著作権者の許諾なく本製品に搭載されたソフトウェアの全部または一部を、複製もしくは改変、ハードウェアからの分離、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングなどの行為を自らせずまたは第三者にさせないでください。またその利用を行わないでください。

商標

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「トルカ」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「iD」「iCお引っこしサービス」「WORLD WING」「公共モード」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「ケータイお探しサービス」「マチキャラ」「エリアメール」「ｉコンシェル」「spモード」「声の宅配便」「あんしんスキャン」「eトリセツ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi®はWi-Fi Allianceの登録商標です。

- DLNA®は、Digital Living Network Allianceの商標、サービスマーク、または認証マークです。
- Google は Google Inc. の商標です。
- mixi、ミクシィ、mixiロゴは、株式会社ミクシィの登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- Contains Adobe® Flash® Player by Adobe Systems Incorporated.
  Adobe Flash Player Copyright © 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe and Flash are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- MPEG Audio Layer-3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonからライセンスを受けています。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License及びAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - 画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVCビデオ）を記録すること。
  - 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。

  詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- 本製品は、InterDigital Technology社からのライセンスに基づき生産・販売されています。
- 本製品は、マイクロソフト社の知的財産権に係わる技術が含まれています。マイクロソフトからの適正なライセンスを得ずに、本製品以外でこの技術の使用もしくは頒布を行うことは禁止されています。

- コンテンツ権利者は、Microsoft PlayReadyTM コンテンツアクセス技術によって、著作権で保護されたコンテンツを含む知的財産権を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用して、PlayReady及び／又は WMDRMにより保護されたコンテンツへのアクセスをします。本製品が、コンテンツ保護を適切に実施できない場合、当該コンテンツの権利者は、マイクロソフトに対し、PlayReadyによって保護されたコンテンツを使う本製品の機能の無効化を申し入れることができます。この無効化は、PlayReadyによって保護されていないコンテンツ及び他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツに影響を与えてはなりません。コンテンツ権利者は、提供コンテンツにアクセスするためにPlayReadyのアップグレードを要求する場合があります。その場合、アップグレードを行わないと、当該提供コンテンツへのアクセスができなくなります。
- 本製品にはGNU General Public License(GPL v2), GNU Lesser General Public License(LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL v2またはLGPLに従い、複製、頒布及び改変することができます。
  本製品の引渡から少なくとも3年間、パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社は以下の問い合わせ先にお問い合わせされた方に、配布に要する実費をご負担いただくことを条件として、機器による読取が可能なGPL v2／LGPLが適用されるソースコードの複製物を提供いたします。
  ＜お問い合わせ先＞
  pmc-cs@gg.jp.panasonic.com
  また、ソースコードは以下のウェブサイト経由で入手することもできます。
  http://panasonic.jp/mobile/gpl/
  なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えしかねますので、予めご了承ください。携帯電話からのダウンロードは行えません。ダウンロードはお手持ちのパソコンをご利用ください。
  当該ソフトウェアに関する詳細（GPL v2／LGPLの各ライセンス文含む）は、ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[端末情報]▶[法的情報]の手順で確認することができます。

- 本製品には、上記の他、次のソフトウェアが含まれます。
  - Apache License(v.2.0)の下で提供されるApache Software Foundationが開発したソフトウェア
  - The Free Type Project Licenseの下で提供されるソフトウェア
  - ICU License-ICU 1.8.1 and later
    Copyright © 1995-2011 International Business Machines Corporation and others
  - Anti-Grain Geometry-Version 2.4
    Copyright © 2002-2005 Maxim Shemanarev (McSeem)
  - Mozilla Public License(v.1.1)の下で提供されるソフトウェア

  これらのソフトウェアに関する詳細（ライセンス文含む）は、ホーム画面▶[メニュー]▶[本体設定]▶[端末情報]▶[法的情報]の手順で確認することができます。

Adobe® Flash® Playerのエンドユーザ・ライセンス契約

本製品にはAdobe Systems IncorporatedまたはAdobe Systems Software Ireland Limited（以下「Adobe」とする）から提供されている、Adobeまたはそのライセンサーが権利を有する以下のソフトウェア（以下「本ソフトウェア」とする）が含まれています。

- Adobe Flash® Player

本ソフトウェアの全部または一部を使用した場合は、特に以下の(a)から(f)に記載する制限を含む本契約上のすべての条件に同意したものと見なされます。
本契約にお客様が同意した場合、本契約はお客様および本ソフトウェアを取得し、かつ自らの利益のために本ソフトウェアを使用する法人に対して強制力があり、本製品の提供者、Adobe、Adobeのライセンサーにより執行可能とします。
同意しない場合は、本ソフトウェアを使用しないでください。
(a) お客様は本ソフトウェアを配布およびコピーすることはできません。
(b) お客様は本ソフトウェアを修正、改変することはできません。
(c) お客様は本ソフトウェアをリバースエンジニアリングしたり、逆コンパイルしたり、逆アセンブルしてはならず、本ソフトウェアのソースコードを解明しようと試みないものとします。
(d) 本ソフトウェアは現状有姿にて提供されるものであり、明示的であると黙示的であるとを問わず、商品性の保証、特定目的適合性の保証、第三者権利非侵害の保証を含むがこれらに限られない、いかなる保証もないものとします。提供者、Adobe、Adobeのライセンサーは、当該損害の発生の可能性につき認識していた場合を含む、いかなる場合においても、損害、費用、派生損害、間接損害、付随的損害、特別損害、または利益の喪失につき、お客様に対して賠償する責を負わず、懲罰的損害賠償も行わないものとします。上記の制限および排除は、お客様の居住法域の法律により認められる範囲において適用されます。本契約に基づくまたは関連した損害賠償責任の総額は、本製品に対してお客様が支払われた金額があれば、その金額に制限されるものとします。
(e) 本ソフトウェアのバージョンによってはアクセスできないコンテンツがあります。
(f) 信用の連鎖を確立するために使用される証明書は無効とされ得るものであり、新しい証明書を含む本ソフトウェアのバージョンをインストール等しないとアクセスできないコンテンツがあります。

索引

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
My docomo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種お申込・お手続き
※ ご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、「総合お問い合わせ先」にご相談ください（☞P.273）。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（電源OFF）
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します（☞P.108）。
●バイブ
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします（☞P.119）。
●マナーモード
着信音・タッチ操作音など本端末から鳴る音を消します（☞P.92）。
※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（☞P.102）、転送でんわサービス（☞P.104）などのオプションサービスが利用できます。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

海外での紛失、盗難、精算などについて

<ドコモ インフォメーションセンター>（24時間受付）

■ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*（無料）**

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※P-04Dからご利用の場合は、＋81-3-6832-6600でつながります。
(「＋」は[0]をロングタッチします。)

■一般電話などからの場合 <ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

海外での故障について

<ネットワークオペレーションセンター>（24時間受付）

■ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414*（無料）**

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※P-04Dからご利用の場合は、＋81-3-6718-1414でつながります。
(「＋」は[0]をロングタッチします。)

■一般電話などからの場合 <ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口にご持参ください。

総合お問い合わせ先

<ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9：00～午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障·アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ

製造元　パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

'12.3（第1.1版）

3TR100440AAA

F0212-1